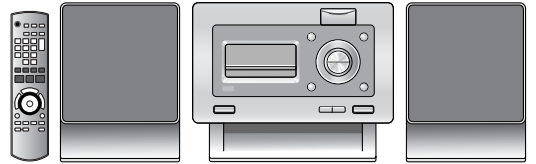
Panasonic

取扱説明書

SD ステレオシステム

品番 SC-NS550SD

SDに録って つながる、広がる！

10ページ

D-snap や携帯電話でも楽しめる！

高速録音で 快適・便利！

24ページ

CD→SDへ、最大8倍速で録る！

保証書別添付

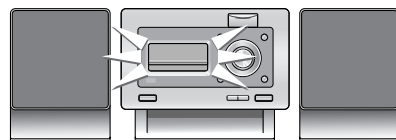
上手に使って上手に節電

このたびは、SD ステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

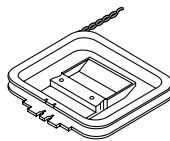
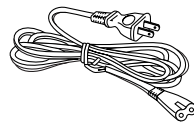
■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」(63 ～ 65 ページ) は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。** お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

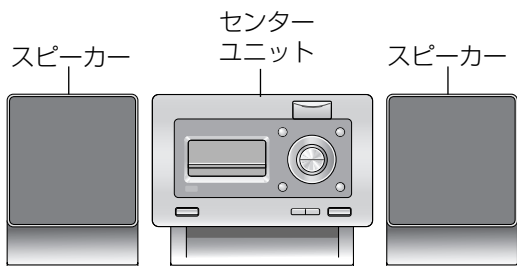
■ 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

6
ページ
電源を切っても
表示部が光る !?
「デモ機能」を OFF に
してください。

付属品/設置/リモコンの準備

付属品をご確認ください

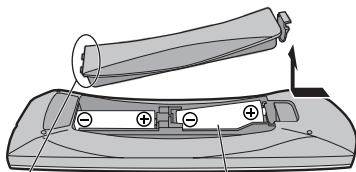
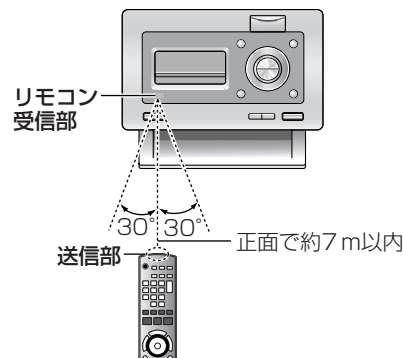
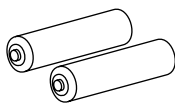
□FM 簡易型アンテナ（1 本）
【RSA0007-L1】

□AM ループアンテナ（1 本）
【N1DAAAA00001】

□電源コード（1 本）
【RJA0012-1A】

本機はこのように置きます

SD ステレオシステム	SC-NS550SD
センターユニット	SA-NS550SD
スピーカー	SB-NS550

- スピーカーは右・左とも同じ形です。
  どちらに置いても同じです。
- センターユニットとスピーカーは、1 cm 以上離してください。

リモコンはこのように使います

■乾電池（付属）の入れかた

リモコンの裏面

■リモコンの使いかた

□リモコン（1 コ）
【N2QAYB000147】

□リモコン用乾電池
（単 3 形： 2 本）

お知らせ

●付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
●電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
●カッコ【　　】内は、買い替え時の品番です。
品番は 2007 年 1 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

付属品は、販売店でお買い求めいただけます。
松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご確認ください。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/

■スピーカーについて

- **本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。**
- **付属のスピーカー以外はご使用になれません。**
- **スピーカーネットは取り外しができません。**

お願い

- 大きな音量で連続使用しないでください。
スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも、以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります）
  ・音がひずんだとき
  ・音質を調整するとき

■よりよい音響効果を得るために

音はスピーカーの置きかたによって変化します。例えば、床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。
下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- しっかりした、平らで安定した場所に設置する。
- 左右のスピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする。また、周りの反射をできるだけ少なくする。
例）左右のスピーカーは壁から離す。堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する。
- 鑑賞時の耳の位置と同じくらいの高さにスピーカーを設置する。

■使用上のお願い

●受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
●受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
●受信部と送信部のほこりに注意。

■本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

■他の機器のリモコンで本機が誤動作するとき

リモコンモードを変更してください。
（☞ 53 ページ）

移動するときはまず、
CDやSDカードをすべて
取り出しておくのね

本機を移動するとき

① CD、SD カードをすべて取り出す。
② ［電源 ⏻/I］を押して電源を切る。
③ “Goodbye!” の表示が消えてから電源プラグを抜く。
※上記操作を行わないと、故障の原因になることがあります。

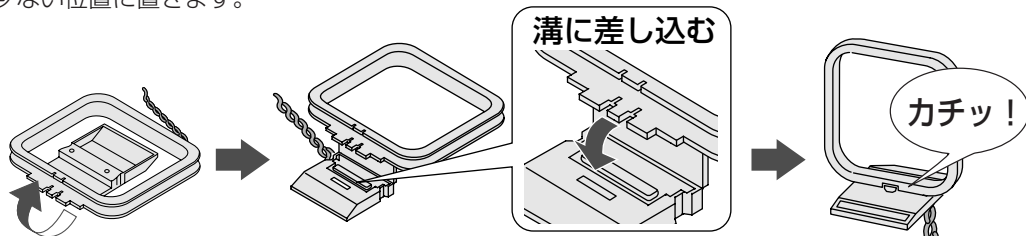
接続のしかた

1 AM ループアンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて（☞ 20 ページ）
雑音の少ない位置に置きます。

溝に差し込む

カチッ！

AM ANT
ー外部
ループ

■ こんな機器もつなげます

●携帯電話やパソコンの曲を聞く/録る（☞ 44 ページ）

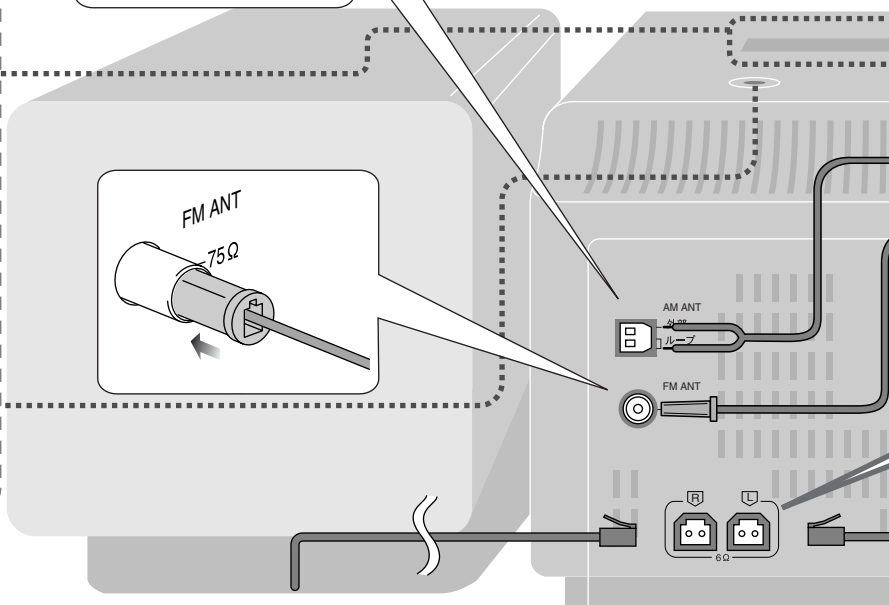
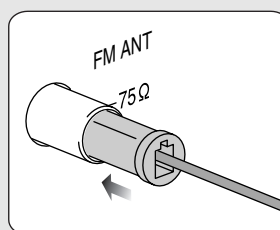
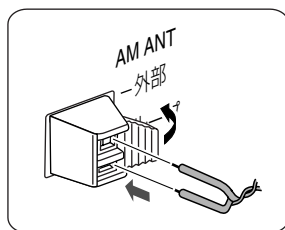
● D-snap port 対応プレーヤーを本機で再生/充電する（☞ 46 ページ）

➡ D-snap port 差し込み部へ

● MD をダビングする（☞ 48 ページ）

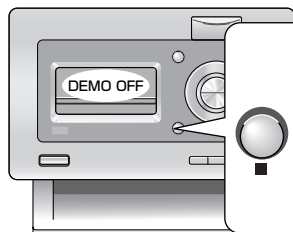
●テレビなどの音声を録る/聞く（☞ 48 ページ）

➡ AUX 端子へ

FM ANT
75Ω

電源を切っても表示部が光る !?

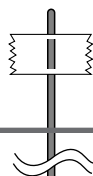
5 デモ機能

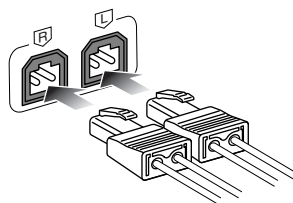
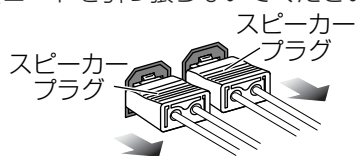
電源「切」の状態で表示部が点灯（デモ機能）するときは、デモ機能を「OFF」にしてください。

●リモコンで操作するときは（☞ 53 ページ「デモ機能を「切」にする」）

デモ機能動作中に **"DEMO OFF" と表示されるまで押したままにする**

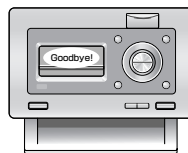
左記操作をするたびに
DEMO OFF（切）
↑↓
DEMO ON（入）

2 FM簡易型アンテナ

つないだあと、実際に放送を受信してみて(☞ 20ページ)
雑音の少ない位置で、壁や柱にテープで止めます。

3 スピーカーコード

端子とコードをつなぎます。
(奥まで差し込む)

■外すとき
スピーカープラグをしっかり持ち、本体を押さえながら引き抜きます。
(コードを引っ張らないでください。)

(お知らせ)
- **付属のスピーカー以外はご使用になれません。**
- 他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど正しい特性の音が得られません。

4 電源コード

電源コードは最後に接続します。
● 電源コードを抜くときは…

① 電源 ⏻/I 押す
② "Goodbye!" の表示が消えてから抜く

家庭用電源コンセント
(AC100 V 50/60 Hz)

(お知らせ)
- 本機の時計を合わせる(☞ 38ページ)とデモ機能は自動的に「切」になります。

各部のなまえ

㊾ などの数字は参照ページです。

本 体

Ω（ヘッドホン）端子 ㊾

D-snap port 差し込み部 ㊺ ㊼

音量調節ダイヤル ⓬

表示部（下記）

SD 検知ランプ ⓮ ㉖
（点灯：SD 挿入時
点滅：録音中、書き込み中）

リモコン受信部 ❹

■（停止）、デモ機能解除ボタン ❻ ⓭

電源 ⏻/I（電源）ボタン ❼ ⓬

CD トレイ ⓭

AUX（外部入力）端子 ㊽

SD 挿入部 ⓯

CD 高速録音 ● CD ▶ SD（イッキ録り）ボタン ㉘

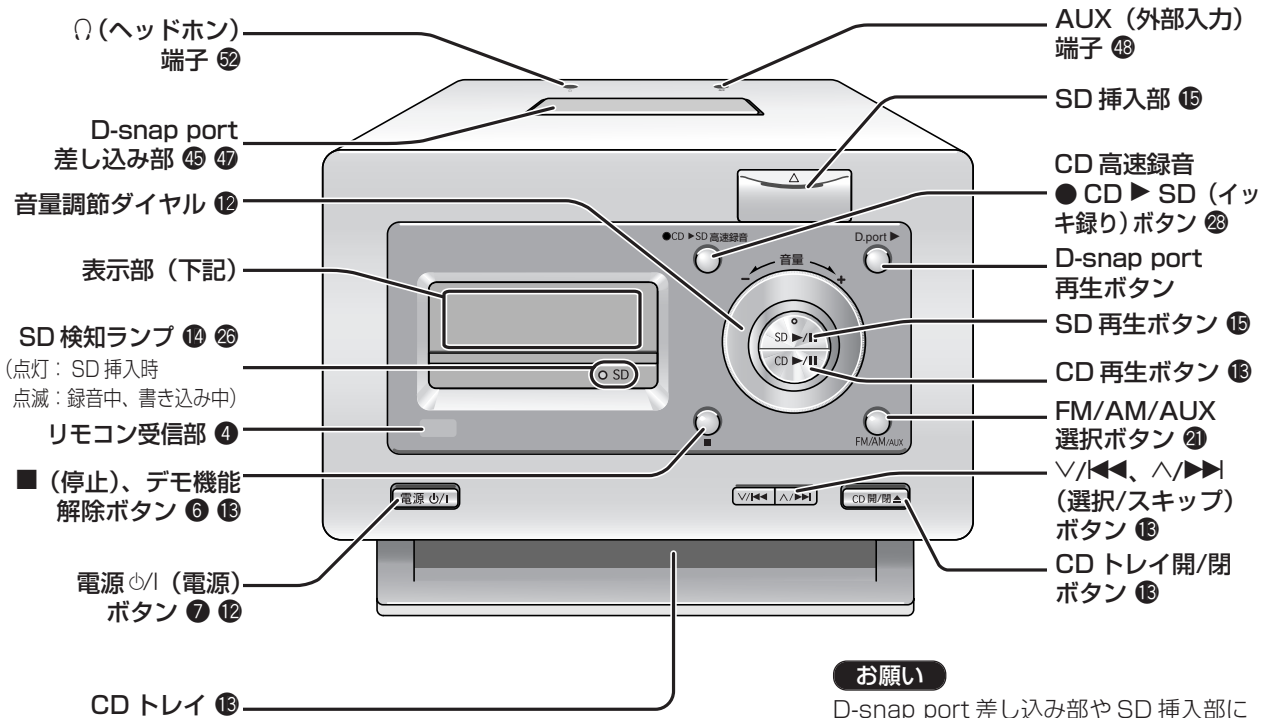
D-snap port 再生ボタン

SD 再生ボタン ⓯

CD 再生ボタン ⓭

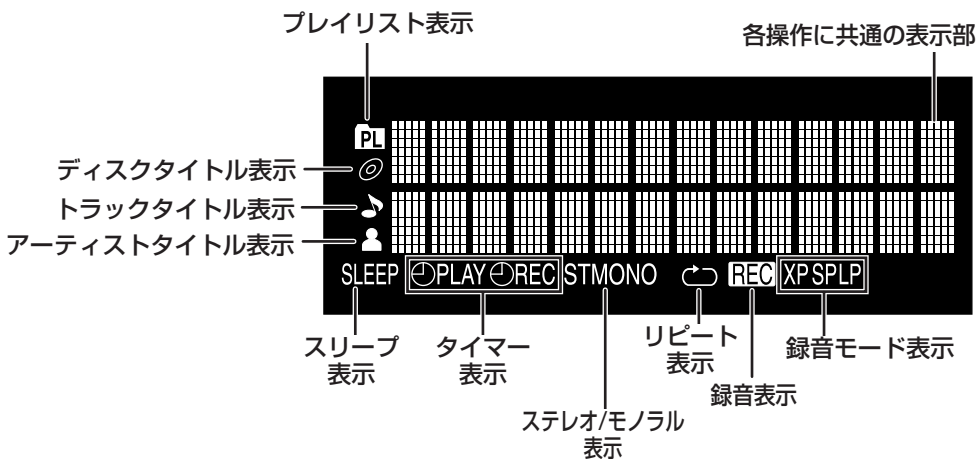
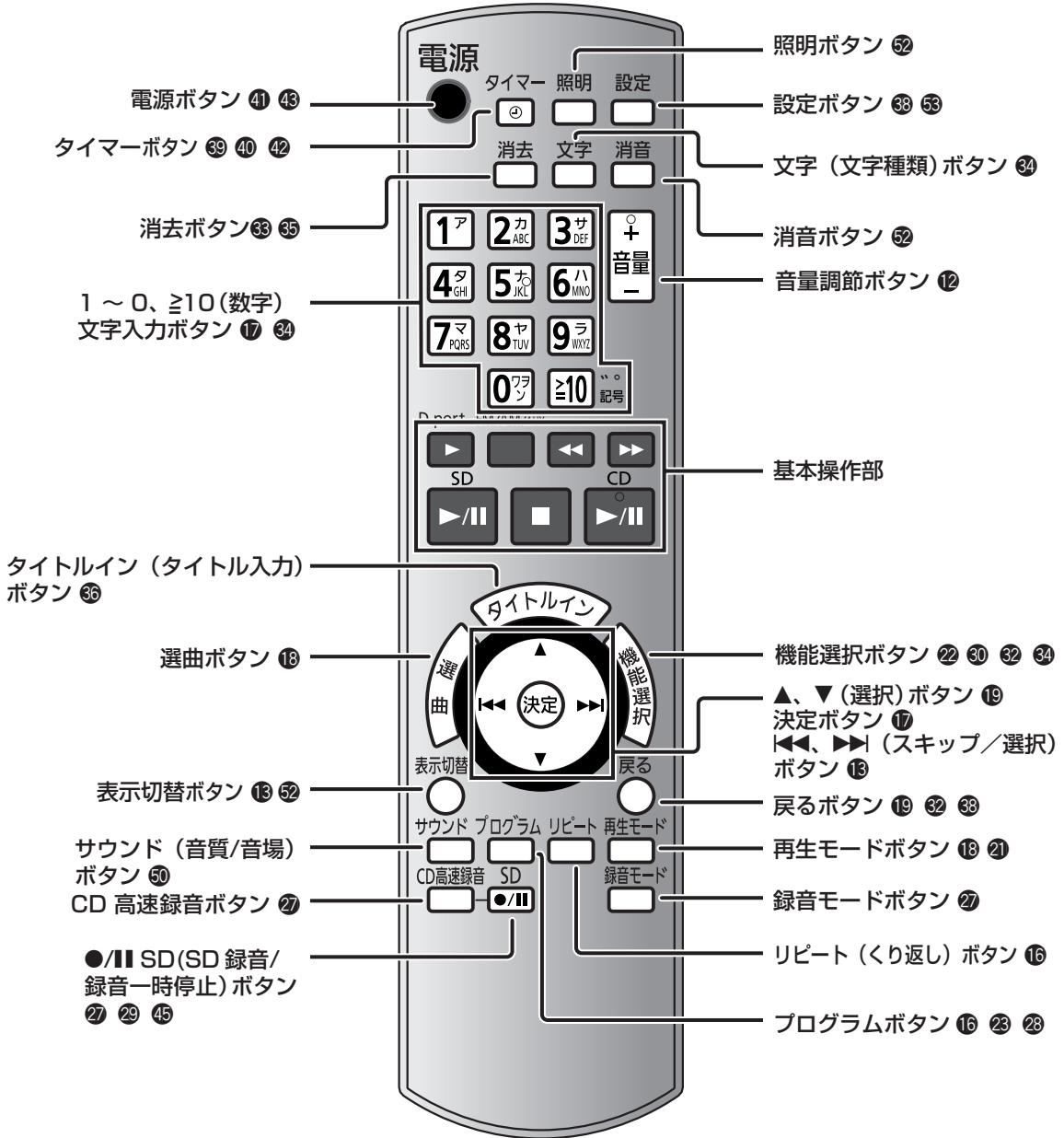
FM/AM/AUX 選択ボタン ㉑

∨/⏮、∧/⏭（選択/スキップ）ボタン ⓭

CD トレイ開/閉ボタン ⓭

お願い

D-snap port 差し込み部や SD 挿入部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしないようご注意ください。故障の原因になります。

表示部

画面表示は説明用の例です。

リモコン

本書の説明について
- リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 表示部の画面は説明のための例です。また、画面の一部を省略している場合があります。

SDを楽しもう

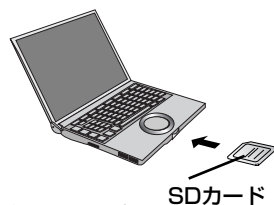
本機では、「SDオーディオフォーマット※」で記録された音楽データを再生したり、録音したりできます。
※ SDアソシエーションにて制定されたSDカードのオーディオ規格です。

本機で録音した曲（音楽データ）は、SDオーディオフォーマットに対応した著作権保護付きの
AACデータとしてSDカードに記録されます。
（AACは音声の圧縮方式です。）

● **最大8倍速で高速録音！**
最大8倍速でCD→SDへ録音が可能です。
「高速録音について」 >>> 24ページ

● **60分CD約132枚がSDカード1枚に※！**
録音モードによって、録音時間が異なります。3つの録音モードから、好みや目的に合わせて選択することができます。
※LPモードで4 GBのSDカードに録音した場合です。ただし、SDカード1枚の録音は最大999曲までです。
「録音モードについて」 >>> 25ページ

別売のソフトウェア「**SD-Jukebox**」を使うと、パソコンで保存・再生などができます。

必要なもの
- SD-Jukebox Ver.6など
- セキュア（著作権保護機能）対応のSDカード挿入部を装備したWindowsパソコン
(パソコンに挿入部がない場合や、セキュア対応でない場合はセキュア対応のUSBリーダーライターが必要です。）

本機で使用できる SD カード

SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、miniSD カード/microSD カード(専用アダプターが必要)が使えます。
8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB、4 GB まで
最新情報は http://panasonic.jp/support/audio/で確認してください。

- 高速録音するときは、当社製 SD カードのご使用をおすすめします。
- マルチメディアカードは使用できません。

家で聞く!

本機で再生できるSDカードは、SDオーディオフォーマットで記録された音楽データ(AAC/WMA/MP3)※のみです。
静止画および動画は再生できません。

※AAC/WMA/MP3は音声の圧縮方式です。
WMA/MP3は、別売のソフトウェア「SD-Jukebox」(☞ 左下「パソコンで楽しむには」)で作成されたもののみ再生できます。

本機でD-snapの再生/充電が可能!

聞いていた曲の続きから再生、終わったら充電
「D-snap port対応プレーヤーを本機で再生/充電する」 >>> 46ページ

外で聞く!

AACが再生可能なSDオーディオ対応機器で再生できます。

こんな機器で再生できます

SDオーディオプレーヤー(D-snap)、携帯電話、など

他社製品との互換性

以下の条件を満たした機器であることを、カタログなどでご確認ください。

- **「SDオーディオ」対応機器であること**
  「SD Audio」「SD-Audio」のように記載されている場合もあります。
- **AAC(64、96、128 kbps)が再生可能なこと**

詳しい対応機器や機種について >>> 46ページ「SDオーディオ対応機器」 54ページ「別売品のご紹介」

別売のソフトウェア「**SD Title Editor Ver.1.0**」を使うと、本機でCDからイッキ録りしたSDに対して、タイトル/アーティスト名などの曲情報を自動で入力できます。

必要なもの

- SD Title Editor Ver.1.0
- SDカード挿入部を装備し、インターネットに接続可能なWindows XPパソコン
  (パソコンに挿入部がない場合はUSBリーダーライターが必要です。)

お知らせ

SD-Jukebox(別売)を使うときは…

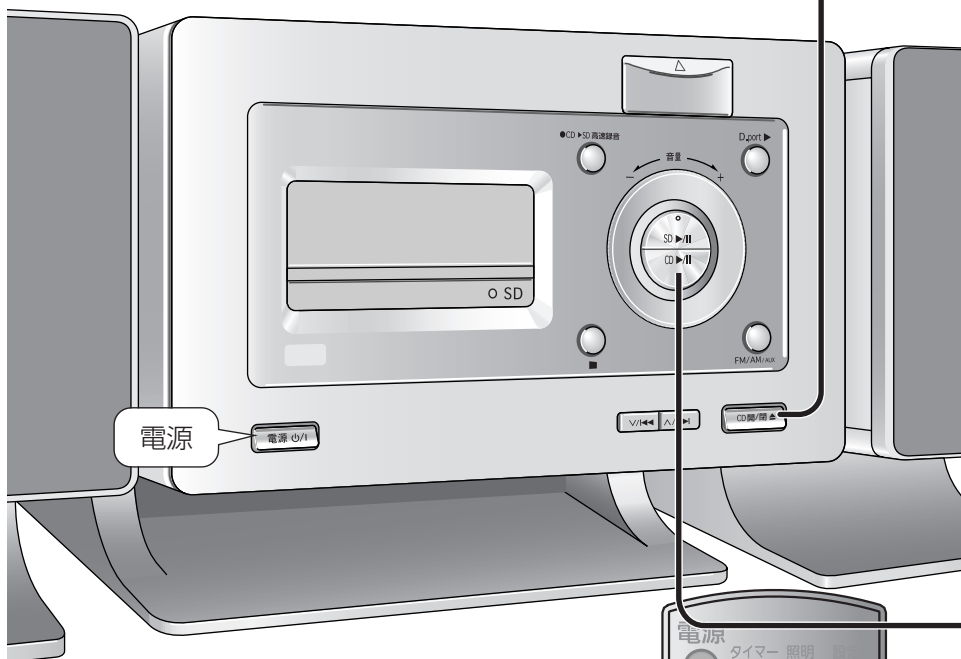
- SD-Jukebox では漢字タイトルを入力できますが、本機の表示部は漢字/ひらがなタイトルに対応していないため、表示されません。
- 著作権保護のため、同じ曲をチェックアウト(パソコンから SD カードへ音楽データを書き込むこと)できる回数には制限があります。

CD を聞く

■ 再生できるディスクについて

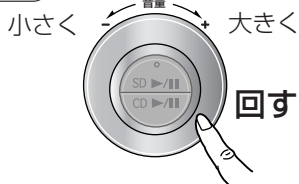
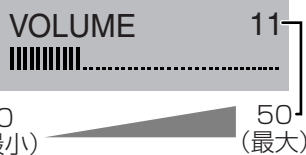
市販の音楽 CD
(CD-DA)

CD-R/CD-RW
(CD-DA)

CD-R/CD-RW
(WMA/MP3)
再生できません

1
CD を入れる

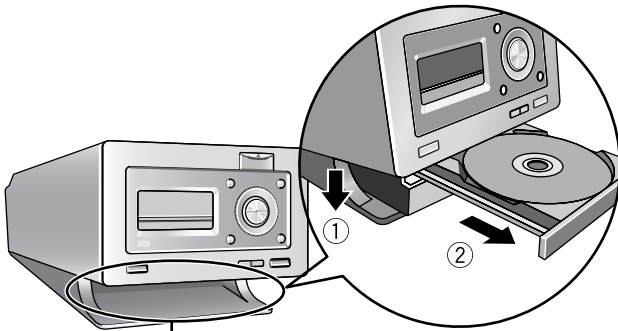
2
再生する

音量を調節する

本体

■ 停止する ➡

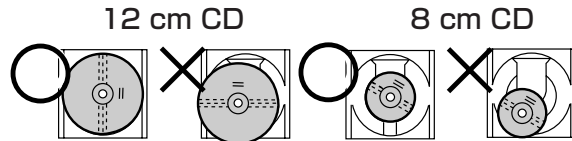
■ 一時停止する ➡

■ 曲を飛ばす ➡
(スキップ)

① CD開/閉▲ **押してトレイを開けて CD を入れる**（電源が入る。）

この部分からトレイが降りてきます。

CD トレイを開くときに本体下部に手を置かれますと、指などを挟む恐れがあります。

②もう一度押して閉じる
（トレイを手で押して閉めない。）

12 cm CD　8 cm CD

● CD はラベル面を上にして、図のように正しく置く。

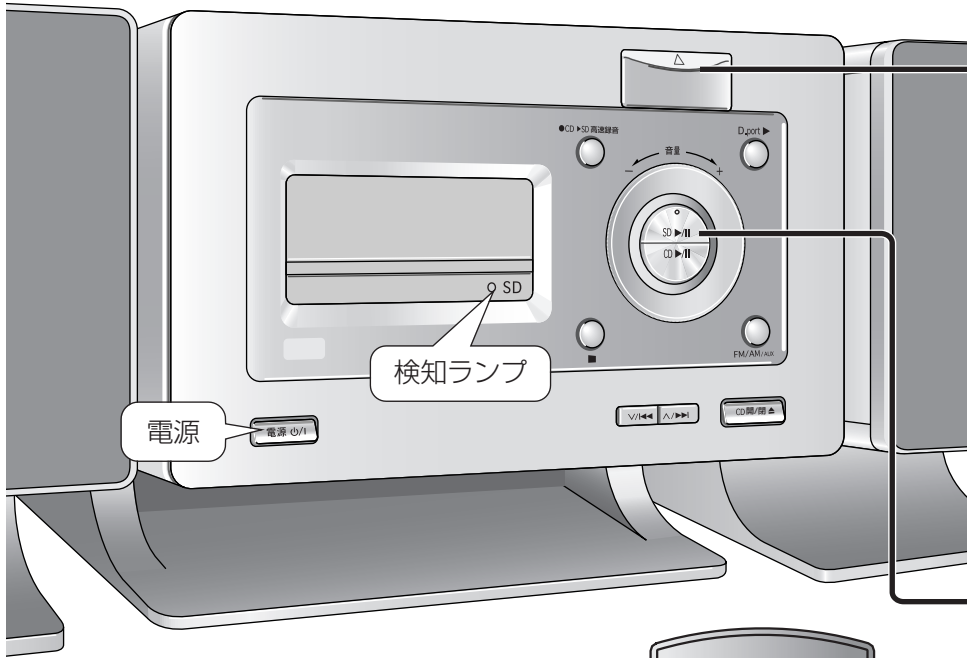
押す
再生が始まります。

●すでにトレイに CD が入っているときは、自動的に電源が入り再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

本体		リモコン	
	押す		押す
	押す		押す
（再開するには、もう一度押す）			
（戻る）（進む）	押す	（戻る）（進む）	押す

	本体	リモコン
■ 早送り / 早戻しする（サーチ）	操作できません	再生中/一時停止中 （戻る）（進む） 聞きたい位置まで押したままにする
■ 残り時間や記憶させたタイトル（☞ 36 ページ）などを表示する	操作できません	表示切替 押す 押すたびに表示内容が切り換わります。
■ CD を取り出す	押す （閉めるには、もう一度押す）	操作できません

SD を聞く

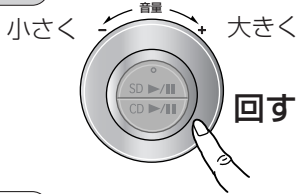
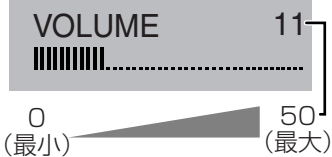
■ 再生できるデータ形式について
「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/WMA/MP3）※のみ再生できます。
※ WMA/MP3 は、「SD-Jukebox（別売）」で作成されたもののみ。（☞ 10 ページ）

1
SD カードを入れる

2
再生する

音量を調節する

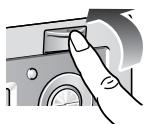
本体
小さく
大きく
回す

リモコン
大きく
小さく
押す

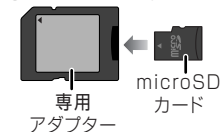
VOLUME 11
0（最小） 50（最大）

■ 停止する

■ 一時停止する

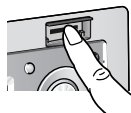
■ 曲を飛ばす（スキップ）

本機では、8 MB ～ 4 GB までの SD カードが使用できます。
お使いになるまえに、55 ページ「SD について」をお読みください。

① 上部を押して
ふたを開ける

② **SD カード**（録音済み）
を入れる

miniSDカード/microSDカードの場合
それぞれ専用アダプターが必要です。

③ **ふたを閉める**

ふたが開いていると、SD を操作できません。

取り出しかた

① 停止中にふたを開ける。
② SD カードの中央部を指で押す。
（指でつまめるくらい SD カードが出る）
③ まっすぐ引き抜く。
④ ふたを閉める。

お願い
●“CARD Writing” 表示中や検知ランプ点滅中は絶対にふたを開けたり、SD カードを取り出したりしないでください。SD カードが使えなくなることがあります。

SD T．17 — 曲数
54:30 — 総再生時間
LP

● SD カードを挿入して、ふたを閉めると検知ランプが点灯します。
● SD モード中に停止状態になっているときは、曲数・総再生時間が表示されます。

押す
再生が始まります。

SD► T． 1 — 再生中の曲番
0:03 — 再生経過時間
SP
録音モード表示（☞ 右記）

● すでに SD カードが入っているときは、自動的に電源が入り再生が始まります。
（ワンタッチプレイ）

■ 録音モードについて（☞ 25 ページ）
再生時には、表示部に次のように表示されます。
● XP モードで録音した曲のとき：“XP”
● SP モードで録音した曲のとき ：“SP”
● LP モードで録音した曲のとき：“LP”
本機以外の機器で録音された曲の場合、表示されないことがあります。

録音モードを選んで録音するには
（☞ 26 ページ）

本体		リモコン	
	押す		押す
	押す		押す

（再開するには、もう一度押す）

（戻る） （進む）
押す

（戻る） （進む）
押す

	本体	リモコン
■ 早送り / 早戻しする（サーチ）	操作できません	再生中/一時停止中 （戻る）（進む） 聞きたい位置まで押したままにする
■ 残り時間や入力したタイトル（☞ 36 ページ）などを表示する	操作できません	表示切替 押す 押すたびに表示内容が切り換わります。

聞く

SDを聞く

CD/SD のいろいろな聞きかた

準備

① 電源を入れる。
② CD/SD カードを入れる。
③ "CD"/"SD" に切り換える。

● CD のとき

● SD のとき

曲番（10 以上）の選びかた

■ 10 以上のとき（例： 24）

■ 100 以上のとき（例: 235）

≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

CD の好きな曲を選んで聞く

プログラムプレイ

CD

好みの数曲や 1 曲を選んで、好きな順に聞くことができます。
最大 24 曲まで予約できます。

1 プログラム 停止中に **押す**

CD PGM
P:00 T: 0

SD の好きな曲を選んで聞く

プログラムプレイ

SD

好みの数曲や 1 曲を選んで、好きな順に聞くことができます。
最大 24 曲まで予約できます。

1 プログラム 停止中に **押す**

●約 2 秒間トータルトラック数が表示されます。

トータルトラック数

SD PGM T:123
ALL TRACKS

↓ 約 2 秒後

SD PGM
P:00 T: 0

くり返し聞く

リピートプレイ

CD **SD**

リピート **押して "ALL REPEAT" を選ぶ**

押すたびに

ALL REPEAT ⇄ REPEAT OFF

CD► T. 1
ALL REPEAT

⭯ が表示されます。

2 押して好きな曲を選ぶ
10以上の選びかた（☞ 左下）

3 CD ►/II 押す
予約順に再生が始まります。

●続けて予約するときは、**手順2**をくり返す。（最大24曲）

2 押して好きな曲を選ぶ
10以上の選びかた（☞ 左下）

3 SD ►/II 押す
予約順に再生が始まります。

●続けて予約するときは、**手順2**をくり返す。（最大24曲）

■ 停止する
➡ 再生中に ■
（予約内容は保持）

■ 予約を取り消す
➡ 停止中に ■ 押して
“YES”を選び決定する
（“PROGRAM CLEAR”が表示）

■ 予約内容を確認する
➡ 停止中に
（戻る）（進む）

■ 予約内容の合計再生時間を表示する
➡ 停止中に 表示切替
■ 予約を追加する
➡ 停止中に**手順2**を行う。

■ 通常の再生に戻す
➡ 停止中に プログラム
“PGM”を消す（予約内容は保持）
プログラムプレイに戻るには**手順1**、**3**を行う。

お知らせ
●電源を切ったり、音源を切り換えても予約内容は保持されます。
●CDまたはSDカードを取り出すと、予約内容は取り消されます。
●予約曲を選んで取り消すことはできません。
●プログラムプレイ中のサーチは、再生中の曲の中だけで行われます。

■ **CD/SDの全曲をくり返す**
通常再生中に **“ALL REPEAT”を選ぶ**

■ **好きな曲**（1曲または数曲）**を選んでくり返す**
プログラムプレイ中（☞ 上記）に
“ALL REPEAT”を選ぶ

■ **順不同にくり返す**
ランダムプレイ中（☞ 18ページ）に
“ALL REPEAT”を選ぶ

■ **プレイリストをくり返す（SDのみ）**
選曲リストからプレイリストを再生中
（☞ 18ページ）に **“ALL REPEAT”を選ぶ**

■ 解除する
➡ リピート 押して“REPEAT OFF”を選ぶ。

●電源を切っても解除できます。

CD/SD のいろいろな聞きかた (つづき)

準備

① 電源を入れる。
② CD/SD カードを入れる。
③ "CD"/"SD"に切り換える。

● CD のとき

● SD のとき

■ 漢字やひらがなの表示について
漢字・ひらがなは、パソコンでは表示されますが、本機では空白となります。
フォルダやファイル、プレイリストやメニューにパソコン等で名前を付ける場合、本機で表示できるようにカタカナ・アルファベット・数字・記号で入力してください。

順不同で聞く

ランダムプレイ

CD SD

1 再生モード

停止中に
押して "RANDOM" を選ぶ
"RND"が表示されます。

押すたびに
RANDOM ⇄ PLAY MODE OFF

CD RND T. 16
RANDOM

好きな曲から聞く

ダイレクトプレイ

CD SD

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10

押して
好きな曲を選ぶ

選んだ曲から順に再生が始まります。

タイトルから曲を探して聞く

タイトルマネージャー

CD SD

CD や SD のタイトルを選曲リストから探して再生することができます。

CD のタイトル入力
(☞ 36 ページ)
SD のタイトル入力
(☞ 34、36 ページ)

CD の場合

1

停止中に
押して選曲リストを表示させる

Track 16
↕1.Winter

SD の場合

1

停止中に
押して選曲リストを表示させる

プレイリストがあるときは
"Playlist" と表示されます。

Track 16
↕1.Winter
SP

2 CD ►/II または SD ►/II 押す

順不同に再生が始まります。

CD► RND T. 3
0:03

■ 解除する

➡ 停止中に 再生モード 押して "PLAY MODE OFF" を選ぶ。

お知らせ

- ランダムプレイ中は、再生済みの曲へスキップできません。
- サーチは、再生している曲の中のみで行われます。
- プレイリスト内でのランダムプレイ中はプレイリスト内の曲のみ順不同で再生されます。

曲番（10 以上）の選びかた

■ 10 以上のとき（例： 24）

≧10 → 2 → 4

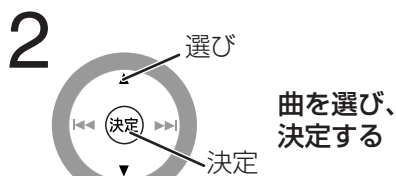
■ 100 以上のとき（例: 235）

≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

お知らせ

- プログラム/ランダム設定中は、ダイレクトプレイできません。各設定を解除してください。（☞ 17 ページ）

2 選び 決定

曲を選び、決定する

選んだ曲から再生が始まります。

■ 1 つ前の画面に戻る（SD のみ）

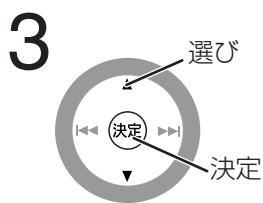
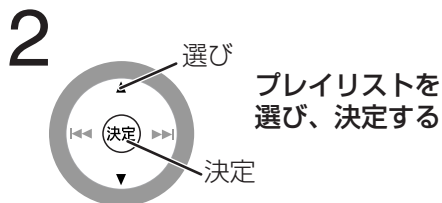
➡ 戻る 押す

お知らせ

- プログラム設定中は、選曲リストを表示できません。設定を解除してください。（☞ 17 ページ）

プレイリストがあるとき

2 選び 決定

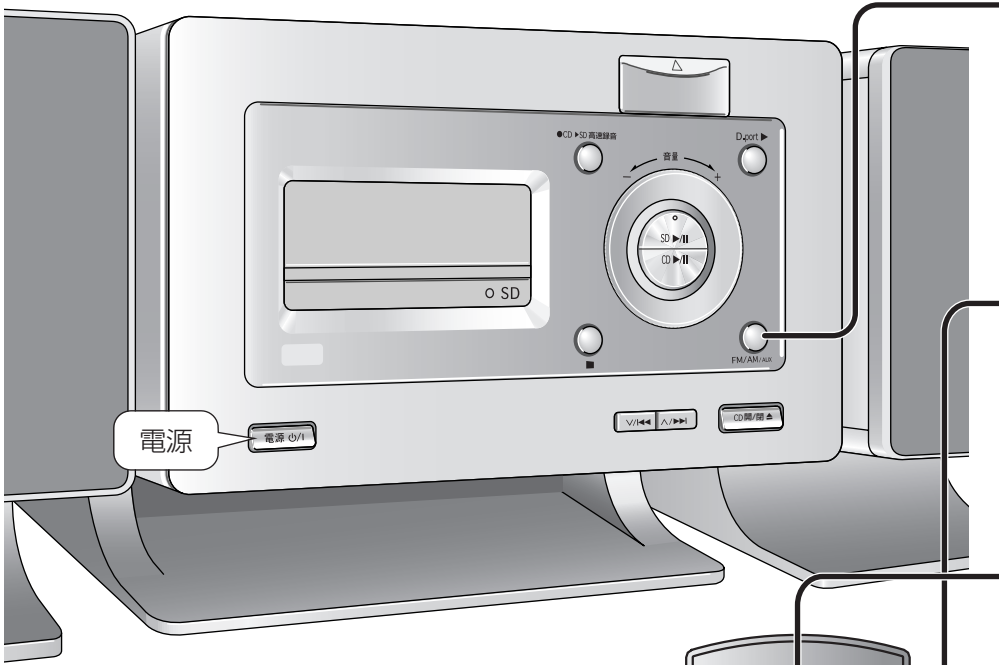
プレイリストを選び、決定する

- 全てのトラックタイトルの中から曲を選ぶ場合は "ALL TRACKS" を選ぶ
- プレイリストがないときは、**手順 3** へ

3 選び 決定

曲を選び、決定する

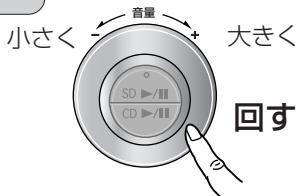
選んだ曲から再生が始まります。

ラジオを聞く

準　備

1
FM / AM を選ぶ

2
放送局の探しかたを選ぶ

3
放送局を探す

■ 自動選局する
(オートチューニング)

■ FM ステレオ放送で雑音が多いとき

(お知らせ)

● オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。

ラジオを聞くには
FM 簡易型アンテナ/AM ループアンテナを必ず接続してください。(☞ 6、7 ページ)
接続しないと放送を受信できません。

押して “FM” または “AM” を選ぶ

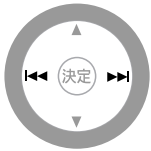
(電源が入る)

押すたびに
FM → AM → AUX

FM 1	76.1MHz
Inter	FM

押して “MANUAL” を選ぶ

押すたびに
MANUAL ⇆ PRESET

FM	76.0MHz
MANUAL	

押して 周波数を合わせる

周波数

FM	88.1MHz

ST
FM ステレオ放送を受信すると表示

リモコン

① 周波数が動き始めるまで **押したままにして**
② 動き始めたら **指を離す**

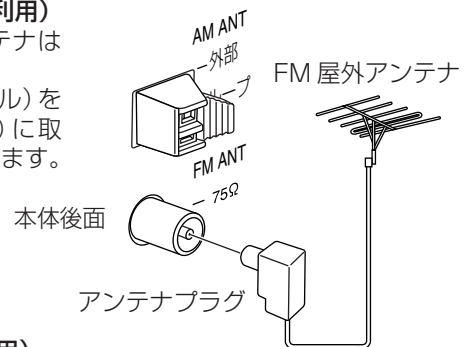
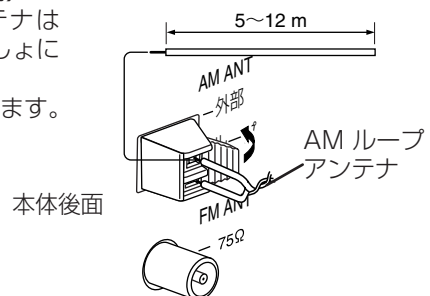
放送を受信すると止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返します。

再生モード “MONO” が表示されるまで **押したままにする**

上記操作をするたびに
MONO ⇆ ST
(通常は “ST” にします)

■ FM/AM 放送がうまく受信できない場合

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をおすすめします。

FM (テレビアンテナの利用)
付属の FM 簡易型アンテナは取りはずします。
アンテナ線(同軸ケーブル)をアンテナプラグ(市販)に取り付けて、後面に接続します。

AM (市販のコードの利用)
付属の AM ループアンテナは取りはずさないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。

放送局を記憶させて聞く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、
簡単な操作で聞くことができます。
（FM／AM 各 15 局まで）

準 備

① 電源を入れる。
② “FM” または “AM” に切り換える。

FM/AM/AUX 押して
“FM” または “AM” を選ぶ

エリアバンク一覧表（2007 年 1 月現在）

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	21	大津
2	青森	22	奈良
3	秋田	23	和歌山
4	盛岡	24	大阪圏（大阪、神戸、京都）
5	山形	25	鳥取
6	仙台	26	松江
7	福島	27	広島
8	宇都宮	28	山口
9	水戸	29	高松／岡山
10	前橋	30	徳島
11	東京圏（東京、横浜、千葉、さいたま）	31	松山
12	甲府	32	高知
13	松本	33	福岡
14	静岡	34	北九州
15	名古屋圏（名古屋、岐阜）	35	佐賀
16	津	36	長崎
17	新潟	37	大分
18	富山	38	熊本
19	金沢	39	宮崎
20	福井	40	鹿児島
		41	那覇

記憶させる

お住まいの地域の放送局を記憶させる

エリアバンク

エリア番号を設定するだけで、その地域で受信できる主なFM、AM の放送局を一度に記憶できます。

1

ラジオ受信中に
押す

AREA 11
トウキョウケン

好みの放送局をチャンネルに記憶させる

マニュアルメモリー

エリア番号で記憶させたチャンネルに上書きすることもできます。

1

再生モード　ラジオ受信中に
押して
“MANUAL” を選ぶ

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

FM 76.0MHz
MANUAL

聞く

記憶させた放送局を聞く

プリセットチューニング

1

再生モード　ラジオ受信中に
押して
“PRESET” を選ぶ

押すたびに
MANUAL ⇄ PRESET

FM 76.0MHz
PRESET

2

押して
エリア番号を選ぶ

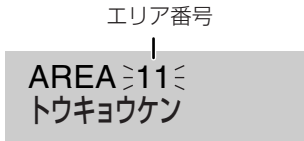
（☞ 左下「エリアバンク一覧表」）

例）お住まいの地域が東京圏の場合、
　エリア番号 11 を選ぶ。

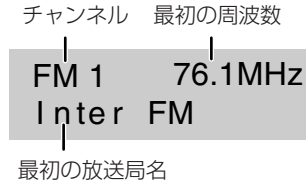
エリア番号

AREA 11
トウキョウケン

3

押す

放送局が各チャンネルに記憶されます。

チャンネル　最初の周波数

最初の放送局名

■ 途中で止める

お知らせ

●数字ボタンでエリア番号を選ぶこともできます。

10 以上の選びかた

■ 例： 12

≧10 記号 → 1 ア → 2 カ ABC

2

押して
周波数を合わせる

3

プログラム

押す

FM　PGM　ー

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 ≧10

10 秒以内
押して
チャンネルを選ぶ

10 以上の選びかた
（☞ 右記）

選んだチャンネルに放送局が記憶されます。
続けて記憶させるには**手順 2 ～ 3** をくり返す。

■ 途中で止める

10 以上の選びかた

■ 例： 12

≧10 記号 → 1 ア → 2 カ ABC

2

押して
チャンネルを選ぶ

選んだチャンネルの放送局を受信します。

チャンネル

FM 1　76.1MHz
Inter FM

お知らせ

●エリアバンクで記憶されたチャンネルを選ぶと放送局名と周波数が表示されます。
●数字ボタンでチャンネルを選ぶこともできます。
●マニュアルメモリーで記憶させた放送局は放送局名が表示されません。

10 以上の選びかた

■ 例： 12

≧10 記号 → 1 ア → 2 カ ABC

録音するまえに

高速録音について

CD→SDの録音速度について

録音モードによって録音速度は異なります。各録音モードの最大倍速は次の表の通りです。
最大8倍速で録音した場合、74分のCDのなら、SDへ約12分で録音が完了します。

CD ＼ 録音モード	XP	SP	LP
CD-DA	8倍	8倍	5倍

- CD-RWからは録音モードに関わらず、2倍速になります。
- ディスクや条件によっては、最大倍速にならない場合や、高速録音できない場合があります。
  高速録音できない場合は、通常速の録音を行ってください。

高速録音の制限について

本機は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているため、以下の制限があります。
録音終了から約74分経過しないと、同じCDを高速録音できません。
- 録音を途中で止めたときでも、続けて同じCDは高速録音できません。（通常速の録音はできます。）

一度に24枚まで録音できます

- 約74分以内にそれぞれ異なる24枚のCDは高速録音できますが、25枚目の高速録音はできません。

さらに高速録音しようとして“PLEASE WAIT ○○MINUTES”（○○は数字）が表示されたときは、○○分待ってから高速録音してください。

CDからSDカードへの高速録音時のお願い

- 高速録音するときは、当社製SDカードのご使用をおすすめします。

お知らせ
- 高速録音は、常に最大倍速になるわけではありません。
  （CDの内周と外周では速度に差異が生じるため。）
- 高速録音時に音声は聞こえません。

SD カードへの録音時のお願い

SD カードを保護するために

- SD カードへの録音中に SD 挿入部のふたを開けないでください。ふたを開けると、現在行っている動作が停止し、正しく録音できません。

CD や Bluetooth などからの録音時に誤ってふたを開けてしまったときは

- 録音が停止します。SD カードを入れ直し、今回録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は、録音内容を削除し、もう一度録音してください。
- CD の高速録音時には、録音が停止したあと、約 74 分経過しないと同じ CD を高速録音できません。ただし、通常速での録音はできます。

ラジオからの録音時に誤ってふたを開けてしまったときは

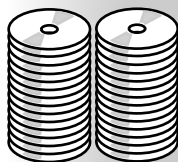
- 録音が停止します。

再生する機器や、目的、好みに合わせて
録音モードが選択できます。

録音方法は 26、28へ (ページ)

3つの録音モードがあります！

- XPモード
- SPモード
- LPモード

好みや目的に合わせて録音モードを選択しよう！

（高音質） ←→ （長時間）
XP モード　SP モード　LP モード

※SDカード1枚の録音は、収録時間内で最大999曲までです。

録音モードと録音可能時間

録音モード / カード容量	XP (128 kbps)	SP (96 kbps)	LP (64 kbps)
32 MB	約31分	約41分	約1時間　2分
64 MB	約1時間　4分	約1時間25分	約2時間　8分
128 MB	約2時間10分	約2時間53分	約4時間20分
256 MB	約4時間14分	約5時間38分	約8時間28分
512 MB	約8時間23分	約11時間11分	約16時間47分
1 GB	約16時間47分	約22時間23分	約33時間34分
2 GB	約34時間　8分	約45時間31分	約68時間17分
4 GB	約66時間29分	約88時間39分	約132時間59分

- SDカード1枚の録音は、収録時間内で最大999曲までです。

利用可能なSDカード

- **SDメモリーカード容量**
  8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで
- **SDHCメモリーカード容量**
  4 GBまで
- **miniSDカード容量**（専用アダプターが必要です。）
  2 GBまで
- **microSDカード容量**（専用アダプターが必要です。）
  1 GBまで

■ 詳しくはhttp://panasonic.jp/support/audio/ を確認してください。

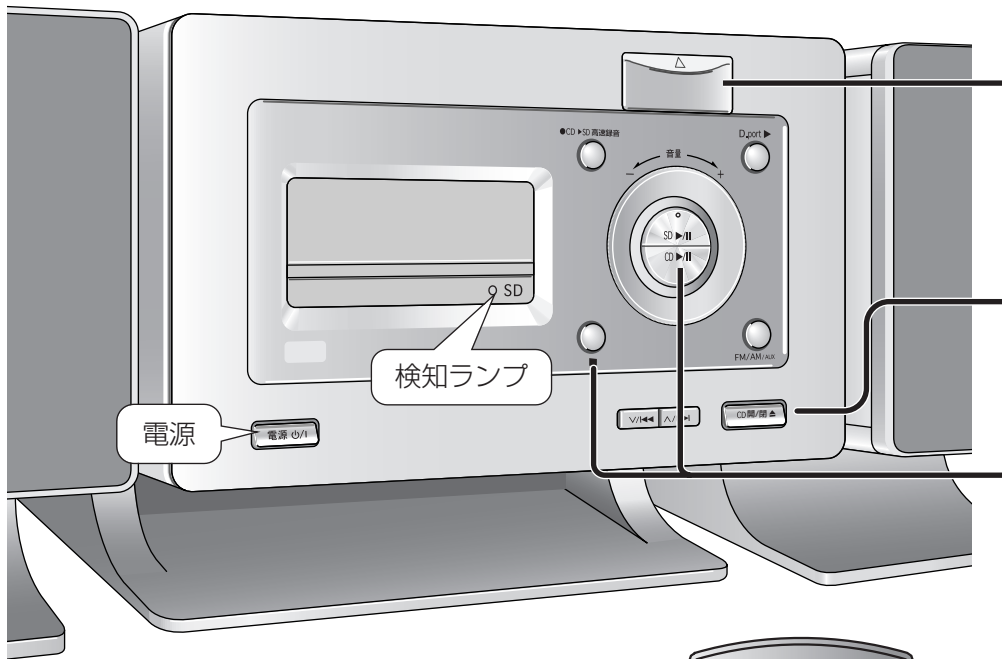
CDをSD に録る (高速録音)

1
SD カードを入れる

2
CD を入れる

3
"CD"に切り換える

4
録音モードを選ぶ
(XP/SP/LP)

5
録音する

録音モード

録音モードによって、録音時間と音質が異なります。

XP/SP/LP モード
XP：高音質モード
SP：標準モード
LP：長時間モード

● 録音可能時間について（☞ 25 ページ）

■ **利用可能な SD カード**
8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB 、4 GB まで
くわしくは
http://panasonic.jp/support/audio/
を確認してください。

(お知らせ)

●SD カード 1 枚の録音は、収録時間内で最大 999 曲までです。
また、実際に録音できる時間が少なくなる場合もあります。

■ 停止する ➡

■ SD の残り時間を確認する ➡

本機では、8 MB～4 GB までの SD カードが使用できます。
お使いになるまえに、55 ページ「SD について」をお読みください。

上部を押して
ふたを開け　SD カードを入れて　ふたを閉める

● miniSD カード/microSD カードを使用するには（ ☞ 15 ページ）

お願い

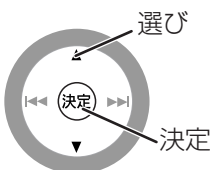
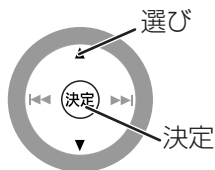
録音中は絶対に SD 挿入部のふたを開けないでください。

●録音が停止し、正常に録音できません。

●録音が終わっても、“CARD Writing” 表示中や検知ランプの点滅中は、絶対に SD 挿入部のふたを開けたり、SD カードを取り出したりしないでください。SD カードが使えなくなることがあります。

押してトレイを開けて CD を入れる（電源が入る）
（閉めるには、もう 1 度押す）

押して“CD”に切り換える

押す

“SD REC MODE” を選び、決定する

XP/SP/LP モードを選び、決定する

CD　T．17
54:30
SP

録音モード表示
（ ☞ 15 ページ「録音モードについて」）

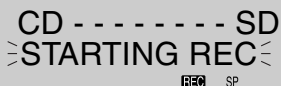
CD高速録音 ＋ SD ●/II

[CD 高速録音] を押したまま [●/II SD] を押す

●高速録音については、24 ページをご参照ください。

CD - - - - - - - - - SD
STARTING REC
REC SP

点灯

SD ●/II **押す**

●CD の 1 曲目から録音が始まります。
（CD の再生が終わると、SD も自動停止）

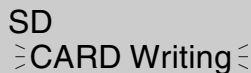
お願い

● **“PLEASE WAIT ○○ MINUTES” (○○は数字) が表示されたときは**（ ☞ 24 ページ）
○○分（○○は数字）待ってから高速録音するか、通常速の録音を行ってください。

■ 押す

SD
CARD Writing

（点滅後完了）

数回押す　XP/SP/LP の各モードによって残り時間も変わります。

お知らせ

●本機で SD に録音した場合は、AAC で記録されます。（ ☞ 10 ページ）

●録音中は一時停止できません。

録る

CDをSDに録る

CD イッキ録り （高速録音） /CD の好きな曲を選んで録る/

準 備

① 電源を入れる。
② “CD” に切り換える。

③ CD/SD カードを入れる。
●録音モード（XP/ SP/ LP モード）を選ぶ。（☞ 26 ページ）

高速録音 CDイッキ録り

CD → SD

ワンタッチで CD を SD へ高速録音します。

高速録音について詳しくは 24 ページを参照してください。

●CD▶SD高速録音 停止中に **押す**

CD の情報を確認後、録音が始まります。

CD - - - - - - - - - SD
STARTING REC
REC SP

CD の好きな曲を選んで録る

プログラム録音

CD → SD

1 プログラム 停止中に **押す**

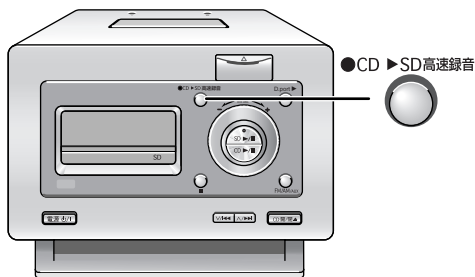
CD PGM
P : 00 T: 0
SP

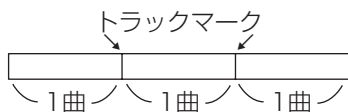
ラジオを録る

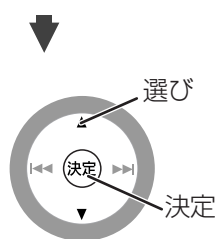
ラジオ→ SD

1 **ラジオ放送を受信して**
（☞ 20 ページ）

押す

“TRACK MARK” を選び決定する

ラジオからの録音時

SD にトラックマーク（曲の区切り）を付けるには

録音中に
好みの位置で押す

録音タイプが MANUAL モードのときにのみ “TR MARKING” と表示され、その位置にトラックマークが付きます。SD ではトラックマークを消して曲と曲をつなげることはできません。

ラジオを録る

“PLEASE WAIT ○○ MINUTES”（○○は数字）が表示された場合は○○分経過してからイッキ録りしてください。（☞ 24 ページ）

●途中の曲までしか録音できない場合、録音できる範囲が約 6 秒間表示されます。

（例）“TRACK 10　マデロクオンカノウ”

これは 10 曲目まで録音できることを表しています。表示中に、[■] を押すとイッキ録りを解除できます。XP/SP/LP モードを選び直すことで全曲録音できる場合があります。

● “REC RETRY” と表示したら

ディスク情報をうまく読みとれなかったので、自動的に録音し直しています。表示中はボタン操作をしないでください。

■ 停止する

■ SD の残り時間を確認する

数回押す

お知らせ

●イッキ録り時は再生モード（プログラム/ランダム）は解除されます。
● CD タイトルメモリー（☞ 36 ページ）で本機にタイトルを記憶させた CD を録音すると、SD にタイトル情報もコピーされます。

2 [1][2][3][4][5][6][7][8][9][0][≧10] 押して好きな曲を選ぶ

10 以上の選びかた（☞ 下記）

CD　PGM
P : 01　　　T :　5 ― 予約した曲

予約順

●続けて予約するときは、**手順 2** をくり返す。（最大 24 曲）
●曲番を選んでも合計録音時間は表示されません。

曲番（10 以上）の選びかた

■ 例： 12

[≧10] → [1] → [2]

3 SD [●/II] 押す

録音が始まります。

■ 停止する

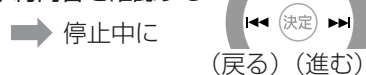
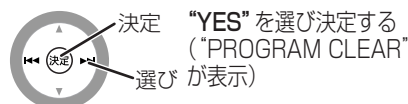
録音中に [■]（予約内容は保持）

■ 予約内容を確認する

停止中に

■ 予約を取り消す

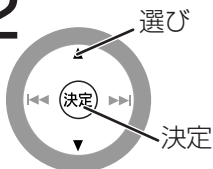
[■] 押して

“YES” を選び決定する（“PROGRAM CLEAR” が表示）

■ SD の残り時間を確認する

表示切替　数回押す

お知らせ

●プログラム録音時に、高速録音することはできません。
●電源を切ったり、音源を切り換えても予約内容は保持されます。
● CD を取り出すと、予約内容は取り消されます。
●予約曲を選んで取り消すことはできません。

2 **録音タイプを選び、決定する**

［▲、▼］を押すたびに

MANUAL（通常の録音タイプ）
↓↑
AUTO (5 MIN)
（5 分おきにトラックマークが自動的に追加）

3 SD [●/II] 押す

録音が始まります。

■ 停止する

[■]

■ 一時停止する

SD [●/II]　“REC” 点滅

SD は一時停止し、SD にトラックマークが付きます。
（再開するには、もう一度押す）

■ SD の残り時間を確認する

表示切替　数回押す

SD を編集する

●曲順を入れ換えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル SD が作れます。
●プレイリスト編集を行った SD カードで編集作業を行うと、編集内容に応じて、プレイリスト情報も自動的に更新されます。

準　備

① 電源を入れる。
② 編集したい SD カードを入れる。
③ “SD” に切り換える。

■ 途中で解除する

機能選択

演奏状態（再生・停止）により表示される編集モードは異なります。

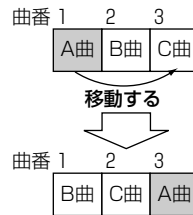
TRACK ERASE?	：曲を選んで消す
PL ERASE?	：プレイリストを消す（プレイリストがあるときのみ表示）
ALL ERASE?	：全曲を消す
MOVE?	：曲を移動する
CARD FORMAT?	：カードを初期化する
PLAYLIST?	：プレイリストを編集する

お願い

●SD カードの編集中に SD 挿入部のふたを開けてしまったときは、SD カードを入れ直し、編集内容を確認してください。正しく編集されていない場合は、もう一度編集してください。

曲を移動する

ムーブ

SD

1
停止中に
押して
“MOVE?” を選び
（☞ 左下「機能選択」）

押す

曲を消す

イレース

SD

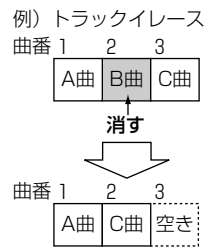
曲を選んで消す（トラックイレース）

1
停止中に
押して
“TRACK ERASE?”
を選び
（☞ 左下「機能選択」）

押す

プレイリストを消す（PL イレース）

1
停止中に
押して
“PL ERASE?”
を選び
（☞ 左下「機能選択」）

押す

PL イレースはプレイリストに登録している曲をプレイリストごと、SD カード内から削除します。
削除せずに解除するときは「プレイリストを解除する」
（☞ 32 ページ）

全曲消す（オールイレース）

1
停止中に
押して
“ALL ERASE?”
を選び
（☞ 左記「機能選択」）

押す

SD を初期化する

フォーマット

SD

SD カードに記録されている全てのデータを消去します。

1
停止中に
押して
“CARD FORMAT?”
を選び
（☞ 左記「機能選択」）

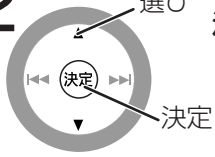
押す

2 移動する曲を選び、決定する

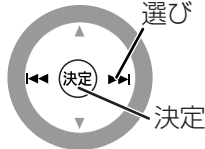
選び
決定

MOVE
T. -?→T.

移動先を選び、決定する

選び
決定

MOVE
T. 2→T. -?

3

選び
決定

“YES”を選び、決定する

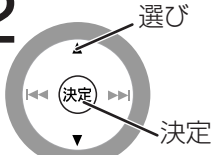
MOVE？
YES NO

“CARD Writing”の点滅後、編集が完了します。
“NO” を選ぶと移動が中止されます。

お知らせ
- ムーブは再生中でもできます。再生中は、再生している曲以外の移動はできません。

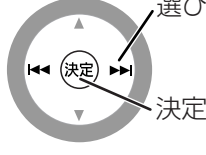
---

2 消したい曲を選び、決定する

選び
決定

続けて曲を消す場合は、手順2をくり返す。（1度に最大24曲まで）

TRACK ERASE
T. -?

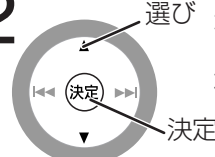
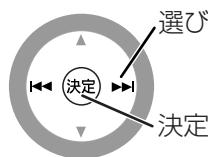
3

選び
決定

“YES”を選び、決定する

“CARD Writing”の点滅後、編集が完了します。

お知らせ
- トラックイレースは消したい曲の再生中でもできます。
- オールイレースは、SDオーディオのファイルだけを全て消去します。
- SDでは、一度に消去する曲数が多い場合や、消す曲が多数のプレイリストに登録されている場合、編集に時間がかかることがあります。

---

2 消したいプレイリストを選び、決定する

選び
決定

PL ERASE
1

3

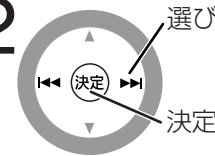
選び
決定

“YES”を選び、決定する

“CARD Writing”の点滅後、編集が完了します。

---

2 “YES”を選び、決定する

選び
決定

- “CARD Writing”の点滅後、編集が 完了します。
- “NO TRACK”が表示されます。

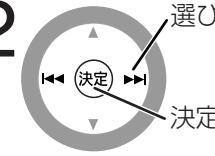
ALL ERASE？
YES NO

---

2 “YES”を選び、決定する

選び
決定

CARD FORMAT？
YES NO

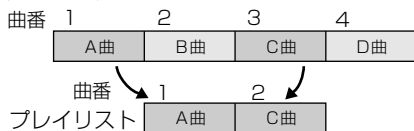
- “CARD Writing”の点滅後、編集が完了します。

お知らせ
- 本機で初期化した場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- SDカードの種類により、初期化に時間がかかることがあります。
- **“NO TRACK”が表示されるまでSD挿入部のふたを開けないでください。SDカードが使えなくなることがあります。**

初期化すると、本機で録音したデータだけでなく、SDに記録されているすべてのデータが消去され、元に戻すことができません。よく確認してから実行してください。

編集

SDを編集する

SD のプレイリストを編集する

プレイリストとは
録音した曲（トラック）を集めて、再生したい順に並べたものです。

- プレイリストは再生順を登録するだけなので、SD カードの容量はほとんど使いません。
- プレイリストのトラックを除外したり新たに作成しても元のトラックには影響しません。

最大記録数
プレイリスト：99
1 つのプレイリストに登録できる曲数：99

準　備

① 電源を入れる。
② 編集したい SD カードを入れる。
③ “SD” に切り換える。

■ 1 つ前の画面に戻る ➡

■ 途中で解除する ➡

機能選択

TRACK ERASE? → PL ERASE? → ALL ERASE?
↑ ↓
PLAYLIST? ← CARD FORMAT? ← MOVE?

お願い

- SD カードの編集中に SD 挿入部のふたを開けてしまったときは、SD カードを入れ直し、編集内容を確認してください。正しく編集されていない場合は、もう一度編集してください。

プレイリストの新規作成

プレイリストで聞くには「タイトルから曲を探して聞く」
（☞ 18 ページ）

1
停止中に
押して “PLAYLIST?” を選び
（☞ 左下「機能選択」）

 押す

プレイリストに曲を追加する

プレイリストに曲を追加登録します。

1
停止中に
押して “PLAYLIST?” を選び
（☞ 左下「機能選択」）

決定 **押す**

プレイリストから曲を除外する

プレイリストに登録している曲を除外します。曲自体は消去されません。
プレイリストから全曲除外すると、プレイリストも解除されます。

1
停止中に
押して “PLAYLIST?” を選び
（☞ 左下「機能選択」）

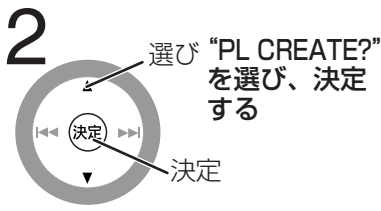
 押す

プレイリストを解除する

プレイリストに登録されている曲自体は消去されません。

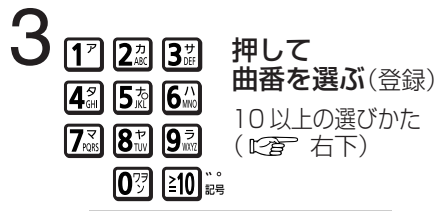
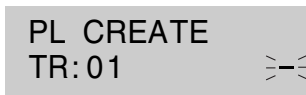
1
停止中に
押して “PLAYLIST?” を選び
（☞ 左記「機能選択」）

 押す

2
選び "PL CREATE?" を選び、決定する

[▲、▼] を押すたびに
PL EDIT?⟷ PL RELEASE?
↕ ↕
PL TITLE?⟷ PL CREATE?
プレイリストが全くない場合は "PL CREATE?" しか選べません。

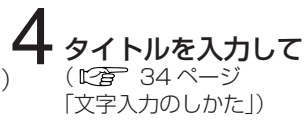
PL CREATE
TR: 01

3
押して 曲番を選ぶ(登録)
10 以上の選びかた
(☞ 右下)

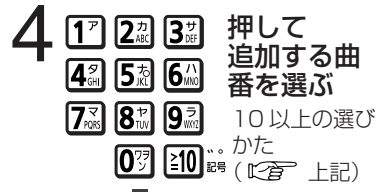
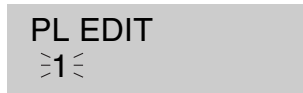
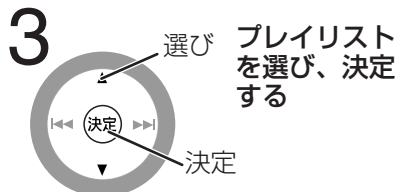
PL CREATE
TR: 01 3
登録順 曲番

●続けて選ぶときは、手順 3 をくり返す。(最大 99 曲)
●登録した曲は [▲、▼] で確認できます。

押す

4
タイトルを入力して
(☞ 34 ページ「文字入力のしかた」)

決定 押す

"CARD Writing" 点滅後、プレイリストの作成が完了します。

曲番(10 以上)の選びかた

■ 10 以上のとき(例: 24)
≧10 → 2 → 4

■ 100 以上のとき(例: 235)
≧10 → ≧10 → 2 → 3 → 5

2
選び "PL EDIT?" を選び、決定する

[▲、▼] を押すたびに
PL EDIT?⟷ PL RELEASE?
↕ ↕
PL TITLE?⟷ PL CREATE?

3
選び プレイリストを選び、決定する

PL EDIT
1

4
押して 追加する曲番を選ぶ
10 以上の選びかた (☞ 上記)

押す

"CARD Writing" 点滅後、編集が完了します。

2
選び "PL EDIT?" を選び、決定する

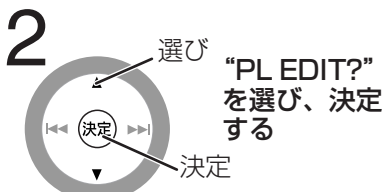
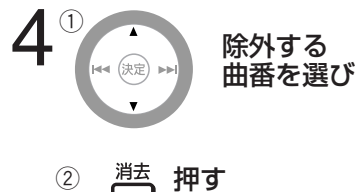
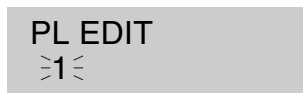
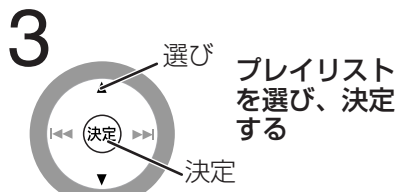
[▲、▼] を押すたびに
PL EDIT?⟷ PL RELEASE?
↕ ↕
PL TITLE?⟷ PL CREATE?

3
選び プレイリストを選び、決定する

PL EDIT
1

4
① 除外する曲番を選び

② 消去 押す

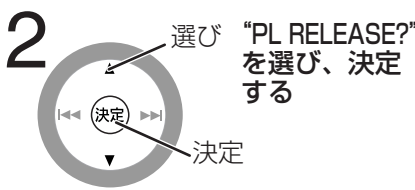
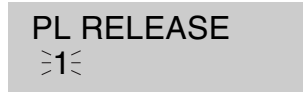
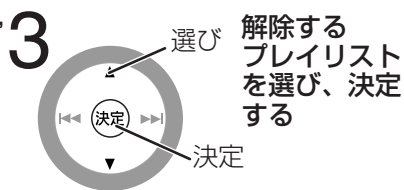
③ 決定 押す

"CARD Writing" 点滅後、編集が完了します。続けて除外するには [決定] を押す前に手順 4 の ①、② をくり返す。

2
選び "PL RELEASE?" を選び、決定する
決定

[▲、▼] を押すたびに
PL EDIT?⟷ PL RELEASE?
↕ ↕
PL TITLE?⟷ PL CREATE?

3
選び 解除するプレイリストを選び、決定する
決定

PL RELEASE
1

4
選び "YES" を選び、決定する
決定

"CARD Writing" 点滅後、編集が完了します。

■ プレイリストを消すときは
(☞ 30 ページ「PL イレース」)

SD にタイトルを付ける

● タイトルごとに最大 32 文字まで入力できます。
● タイトルの種類
 ● プレイリスト名(プレイリストタイトル)
 ● 曲名(トラックタイトル)
 ● アーティスト名(アーティストタイトル)

準 備

① 電源を入れる。
② タイトルを付けたい SD カードを入れる。
③ “SD” に切り換える。

■ 途中で解除する

(お知らせ)

他の機器で漢字・ひらがなのタイトル入力をしている SD をさらに本機でタイトル入力した場合、他の機器で正しくタイトル表示されないことがあります。

文字入力のしかた

タイトル入力画面(☞ 33、35、37 ページ)にした後、入力します。

1 文字 **押して文字の種類を選ぶ**

押すたびに
カナ<ア>→英大< A >→英小< a >→数字< 1 >

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2 **押して文字を選ぶ**

A <A>
選んだ文字を表示 文字の種類

3 **押す**

文字が確定され、次の文字が入力できます。

プレイリストタイトルを付ける

SD

1

停止中に
押して “PLAYLIST?” を選び

押すたびに
TRACK ERASE? → PL ERASE? → ALL ERASE? → MOVE? → CARD FORMAT? → PLAYLIST?

 押す

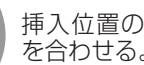
■ 入力を途中で止める

ただし、すでに［決定］を押して確定したタイトルは残ります。

■ ゛ ゜ または記号を入力する ≧10 記号

濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。

押すたびに下記の順序で記号が現れます。（文字の種類によっては表示されない記号があります。）

゛ ゜ ー。「 」、・ ␣ ! " # $ % & ' ( ) * + , − . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~
（␣ は空白です。 部分は SD のみ使用可能です。）

■ 入力済みの文字を変更する

◀◀ 決定 ▶▶ 押して変更する文字にカーソルを合わせる。

●文字を削除する → 消去

●文字を訂正する → 文字を削除してから新しい文字を入力する。

■ 文字の間に新しい文字や空白を入れる

◀◀ 決定 ▶▶ 挿入位置の右の文字にカーソルを合わせる。

●文字を挿入する

→ 新しい文字を入力して 決定 ▶▶

● 1 文字あける

→ ≧10 記号 押して“␣（空白）”を選び 決定 ▶▶

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

	カタカナ	アルファベット		数字
		大文字	小文字	
	<ア>	< A >	< a >	<1>
1 ア	アイウエオ ァィゥェォ			1
2 カ ABC	カキクケコ	ABC	abc	2
3 サ DEF	サシスセソ	DEF	def	3
4 タ GHI	タチツテト ッ	GHI	ghi	4
5 ナ JKL	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
6 ハ MNO	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
7 マ PQRS	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
8 ヤ TUV	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
9 ラ WXYZ	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
0 ワヲン	ワヲン			0

2 “PL TITLE?”を選び、決定する

［▲、▼］を押すたびに
PL EDIT?⟷ PL RELEASE?
↕ ↕
PL TITLE?⟷ PL CREATE?

3 プレイリストを選び、決定する

PL TITLE
1

4 プレイリストタイトルを入力して
（☞ 上記「文字入力のしかた」）

決定 押す

“CARD Writing”の点滅後、編集が完了します。

編集

SDにタイトルを付ける

SD にタイトルを付ける（つづき）/

準 備

① 電源を入れる。
② タイトルを付けたい CD/SD カードを入れる。
③ "CD" / "SD" に切り換える。
● CD のとき
● SD のとき
■ 途中で解除する

➡ タイトルを確定するまでに
（[決定] を押すと確定）

入力モードが解除されます。

お知らせ

●再生中やプログラム/ランダム設定中や選曲リスト表示中は、タイトル入力できません。再生を停止し、各設定を解除して行ってください。

録音済み SD にタイトルを付ける

SD

トラックタイトル
アーティストタイトル

1

停止中に
押す

CD のタイトルを記憶させる

CD タイトルメモリー

CD

タイトルを記憶させておくと、選曲する（☞18ページ「タイトルから曲を探して聞く」）際に便利です。

本機は CD 100 枚分の（ディスク/アーティスト/トラック）タイトルを記憶できます。
CD1 枚につき最大 25 曲分のタイトルが記憶できます。
各タイトルは最大 32 文字まで入力できます。

1

停止中に
押す

CD
DISC TITLE

CD のタイトルを記憶させる

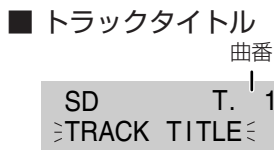
2

①
押して
曲番を選ぶ

■ トラックタイトル

曲番

SD T. 1
TRACK TITLE

②
押す

3 タイトルを入力して
（☞ 34 ページ「文字入力のしかた」）

押す

“CARD Writing” 表示後、
タイトル入力が完了し、
アーティストタイトルの入力画面になります。
手順 3 をくり返して、アーティストタイトルを入力してください。

■ アーティストタイトル

SD T. 1
ARTIST NAME

続けてタイトルを入力する場合
必要に応じて**手順 2、3** をくり返す。
トラックごとにトラックタイトル、アーティストタイトルの入力画面が交互に表示されます。

4

押して
タイトル入力を終える

●途中で入力を終える場合は**手順 4** を行うか、[■] を押す。（すでに［決定］を押して確定したタイトルは残ります。）

2

①
押して
タイトルの
種類や曲番
を選ぶ

■ディスクタイトル

DISC TITLE

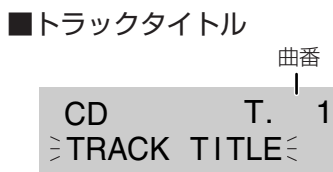
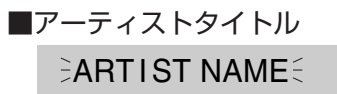
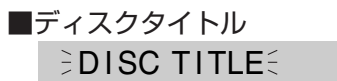
■アーティストタイトル

ARTIST NAME

■トラックタイトル

曲番

CD T. 1
TRACK TITLE

②
押す

3

① タイトルを入力して
（☞ 34 ページ「文字入力のしかた」）

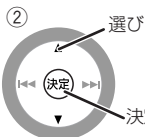
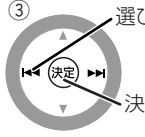
押す

“TITLE WRITE” が表示されます。

続けてタイトルを入力する場合
必要に応じて**手順 2、3-①**の操作をくり返します。

② 入力を終える場合

押す

タイトル入力が完了します。

●入力したタイトルは本機でのみ表示されます。
●タイトルを記憶させた CD を録音すると、SD にタイトル情報もコピーされます。

■ タイトルを消す

① 停止中に

（“TITLE ERASE ?” が点滅表示）

②
消したいタイトルを選び、決定する
（入力した全てのディスクタイトルの中から選びます。）

③
選び
決定
“YES” を選び決定する
“ERASE COMPLETE” が表示されます。

続けてタイトルを消す場合は①-③をくり返してください。終了する場合は[■]を押してください。

■ タイトルを確認する

数回押す

■ 途中で解除する

編集

時計を合わせる

準　備

電源を入れる。

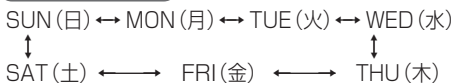
■ 1 つ前の画面に戻る

■ 途中で解除する

設定

CLOCK（時間設定）
↕
REMOCON（リモコンモード）
↕
AUTO OFF（オートオフ）
↕
DEMO（デモ）
↕
SW VERSION（システム情報）
↕
SW UPDATE（システム情報更新）

時計の曜日

SUN（日）↔ MON（月）↔ TUE（火）↔ WED（水）
↕　　　　　　　　　　　　　　　　　↕
SAT（土）←→ FRI（金）←→ THU（木）

本機の時計は 24 時間表示です。
例）土曜日の 16 時 25 分（午後 4 時 25 分）に合わせる

1 設定 押す

2 “CLOCK” を選び、決定する（☞ 左下「設定」）

選び　決定

SETTING
↕ CLOCK

3 曜日を選び、決定する

（☞ 左下「時計の曜日」）

選び　決定

CLOCK SAT

4 時刻を合わせ、決定する

合わせ　決定

CLOCK SAT
16 : 25

● [▲、▼]を押したままにすると、連続して変化します。
● [決定]を押すと、時計がスタートします。

■ 時計を確認する

➡ 手順 1、2 を行う。

●電源「切」時に時計は表示されません。時間を確認するには、[表示切替] を押す。（約 10 秒表示）

CLOCK SAT
16 : 25

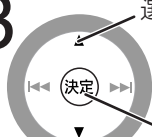
お知らせ

●時計を合わせると、デモ機能（☞ 6 ページ）は自動的に「切」になります。
●時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
●コンセントを抜いたり、停電したときは、もう 1 度設定してください。

タイマーを使う

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

1 タイマー　音源を聞きながら**押す**

2 **“SLEEP OFF” を選び、決定する**（☞ 右記「タイマー」）

TIMER
↕ SLEEP OFF

タイマー

SLEEP OFF
↕
TIMER ADJUST
↕
TIMER SET

タイマーを設定した後は、“SLEEP ○○○” と表示されます。（○○○は残り時間です。）

3 **時間を選び**（30、60、90、120 分）、**決定する**

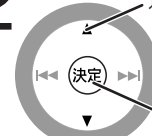
選び
決定

元の画面に戻ります。

SLEEP
↕ 30 MINUTES

SD ▶ T. 3
0:03
SLEEP XP
点灯

■ 解除する
手順 3 で “OFF” を選ぶ。

■ 残り時間を確かめる

（お知らせ）
おやすみタイマーは、おめざめ／留守録タイマーと組み合わせて使えます。常におやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

電源の切り忘れを防ぐ

オートオフ

ボタン操作のない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れます。

1 設定　**押す**

2 **“AUTO OFF” を選び、決定する**（☞ 左記「設定」）

選び
決定

SETTING
↕ AUTO OFF

3 **“ON” を選び、決定する**

選び
決定

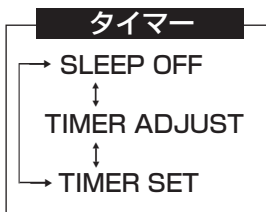
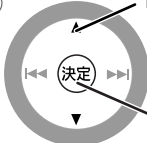
AUTO OFF
↕ ON

元の画面に戻ります。

■ 解除する
手順 3 で “OFF” を選ぶ。

（お知らせ）
- 一度オートオフを “ON” にしておくと、電源を切/入してもオートオフ機能が働きます。
- CD、SD の停止中のみ働きます。

準備

① 電源を入れる。
② CD/SD カードを入れる。

■ 1 つ前の画面に戻る ➡ 戻る
（お知らせ）

●D-snap port でのおめざめタイマーは設定できません。

おめざめタイマーを使う

設定した曜日／時刻に好みの音源を再生します。

例：

金曜日の 6：30 ～ 7：40 まで好みの音源を再生する場合

●時計を合わせておく。
（☞ 38 ページ）

1 ① タイマー 押す

2 ① 合わせ 決定

曜日を合わせ、決定する
（☞ 左下「おめざめタイマーの曜日」）

3 ① CD SD FM/AM/AUX

好みの音源を再生する

4 ① タイマー

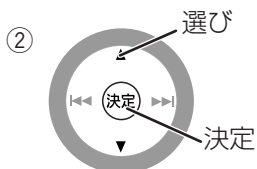
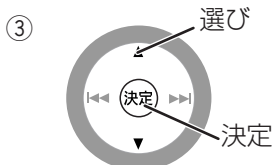
押す

②

“TIMER ADJUST” を選び、決定する

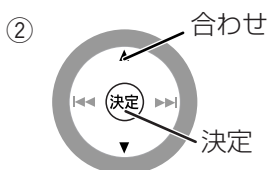
（☞ 左下「タイマー」）

TIMER
↕ TIMER　ADJUST

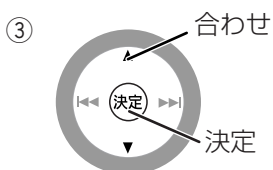
③

“◴ PLAY ADJUST” を選び、決定する

TIMER ADJUST
↕ ◴PLAY ADJUST

---

②

開始時刻を合わせ、決定する

◴PLAY FRI
6:30–> 0:00

③

終了時刻を合わせ、決定する

◴PLAY FRI
6:30–>7:40

---

②

音量を調節する

③

CD/SD は再生を止める

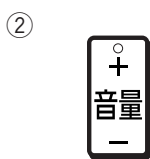
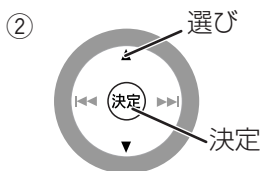
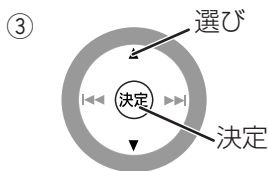
---

②

“TIMER SET” を選び、決定する

（☞ 左記「タイマー」）

TIMER
↕ TIMER　SET

③

“◴ PLAY SET” を選び、決定する

TIMER SET
↕ ◴PLAY SET

点灯

④

電源

押して電源を切る

電源を切らないとタイマーが動作しません。

設定した曜日／時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して、再生します。（動作中は、“◴ PLAY” が点滅）
終了時刻になると自動的に電源が切れます。

■ 途中で止める

■ 解除する

手順 4-③で “TIMER OFF” を選ぶ。

■ 電源「切」時に設定内容を確認する

タイマー ◴（約 10 秒間表示）

■ 設定内容を変える

手順 4-③で “TIMER OFF” を選んだあと、最初からやり直してください。（音源だけを変えたい場合は**手順 3、4** を行う。）

■ タイマー設定後に再生を楽しむ

- 電源を入れ、通常の再生操作をする。
- 再生後は、必ず電源を切る。
- 音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。

■ 別売機器を使ってタイマー設定する

① **手順 3**-①で ［FM/AM/AUX］を押して “AUX” を選ぶ。
② 接続した別売機器（☞ 48 ページ）を本機と同時刻に動作するように設定する。

■ 好みの曲でタイマー設定する

手順 3-①でプログラムプレイを設定する。（☞ 16 ページ）

お知らせ

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。

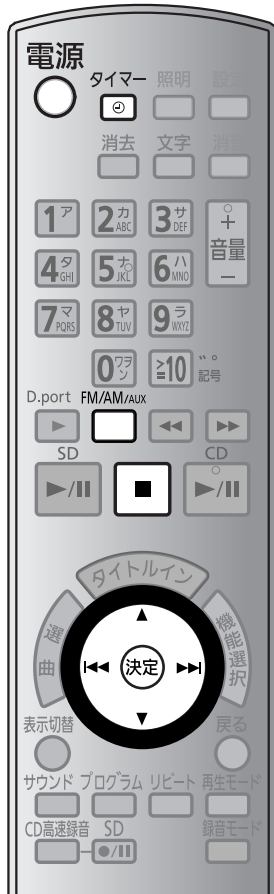
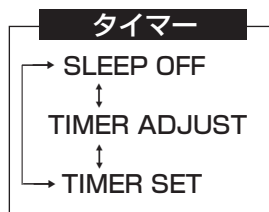
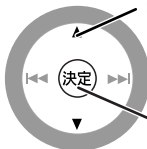
タイマーを使う（つづき）

準　備

① 電源を入れる。
② 録音用 SD カードを入れる。

■ 1 つ前の画面に戻る → 戻る

タイマー

→ SLEEP OFF
↕
TIMER ADJUST
↕
→ TIMER SET

留守録タイマーの曜日

SUN（日）↔ MON（月）↔ TUE（火）↔ WED（水）
↕ ↕
SUN → SAT（毎日）↔ SAT（土）↔ FRI（金）↔ THU（木）

お知らせ

●D-snap port での留守録タイマーは設定できません。

留守録タイマーを使う

設定した曜日／時刻にラジオ放送などを録音します。

例：
土曜日の 18:30 ～ 20:00 まで好みの放送を録音する場合

●時計を合わせておく。
（☞ 38 ページ）

1 ①
タイマー
押す

2 ①
合わせ
決定

曜日を合わせ、決定する
（☞ 左下「留守録タイマーの曜日」）

◴REC ⦚SAT⦚
0:00–> 0:00
◴REC

3 ①
FM/AM/AUX

“FM” または “AM” または “AUX” を選ぶ
押すたびに
FM → AM → AUX
↑＿＿＿＿＿＿＿＿＿|

■ **“AUX” を選んだときは**
（☞ 右上「別売機器を使ってタイマー設定する」）

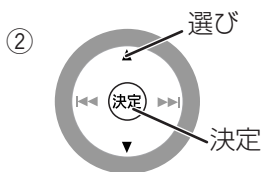
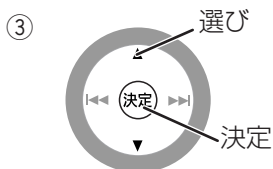
4 ①
タイマー
押す

②

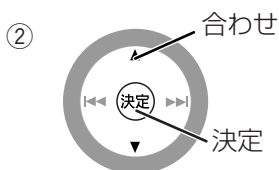
“TIMER ADJUST” を選び、決定する

（☞ 左下「タイマー」）

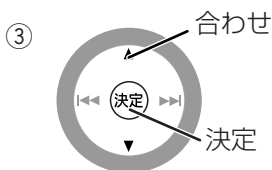
TIMER
↕ TIMER ADJUST

③

“◴ REC ADJUST” を選び、決定する

TIMER ADJUST
↕ ◴REC ADJUST

---

② 合わせ / 決定

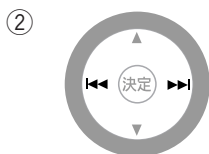
開始時刻を合わせ、決定する

◴REC SAT
18:30 → 0:00
◴REC

③ 合わせ / 決定

終了時刻を合わせ、決定する

◴REC SAT
18:30 – 20:00
◴REC

---

②

周波数、またはチャンネルを合わせる

■ 周波数、チャンネルの合わせかたは

（☞ 20、22 ページ）

■ 必要に応じて設定します。

- 録音モード（XP/SP/LP モード）（☞ 26 ページ）
- 入力レベル（☞ 48 ページ）
- 録音タイプ（☞ 29、49 ページ）

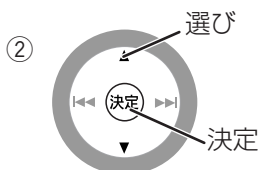
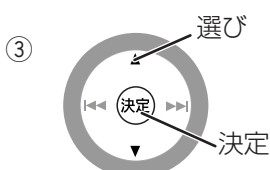
---

②

“TIMER SET”を選び、決定する

（☞ 左記「タイマー」）

TIMER
↕ TIMER SET

③

“◴ REC SET” を選び、決定する

TIMER SET
↕ ◴ REC SET
◴REC
点灯

④ 電源

押して電源を切る

電源を切らないとタイマーが動作しません。

頭切れ防止のため、設定した曜日／時刻の 30 秒前になると電源が入り、録音が始まります。
（動作中は、“◴ REC” が点滅）
終了時刻になると自動的に電源が切れます。

■ 途中で止める

➡

■ 解除する

手順 4-③で “TIMER OFF” を選ぶ。

■ 電源「切」時に設定内容を確認する

➡ タイマー （約 10 秒間表示）

■ 設定内容を変える

手順 4-③で “TIMER OFF” を選んだあと、最初からやり直してください。（音源だけを変えたい場合は**手順 3、4** を行う。）

■ タイマー設定後に再生を楽しむ

- 電源を入れ、通常の再生操作をする。
- 再生後は、必ず電源を切る。
- 音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。

■ 別売機器を使ってタイマー設定する

① **手順 3**-①で [FM/AM/AUX] を押して “AUX” を選ぶ。
② 接続した別売機器（☞ 48 ページ）を本機と同時刻に動作するように設定する。

お知らせ

- 録音時、音量は自動的に最小になります。
- 留守録タイマーとおめざめタイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。
- 曲やプレイリスト数の多い SD カードに追加録音する場合、録音を開始するまでに時間がかかることがあるため、開始時刻を早めて設定してください。

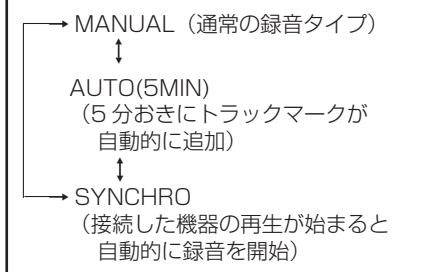
携帯電話やパソコンの曲を聞く/録る

別売のワイヤレスオーディオキット（SH-FX570）を使って、Bluetooth（ブルートゥース）対応の携帯電話やパソコンと本機をつなぎ、携帯電話やパソコンのオーディオ信号を再生/録音することができます。

準 備

■ 録音の場合のみ
録音用 SD カードを入れる。
● 録音モード（XP/SP/LP モード）を選ぶ。（☞ 26 ページ）

録音タイプ

MANUAL（通常の録音タイプ）
↕
AUTO(5MIN)
（5 分おきにトラックマークが自動的に追加）
↕
SYNCHRO
（接続した機器の再生が始まると自動的に録音を開始）

ワイヤレスオーディオキットを接続する

ワイヤレス接続の設定を行います。（ペアリング）

1 D.port ► 押して

"D. port" に切り換える

3 **携帯電話やパソコンなど、再生する機器の接続設定をする**

●携帯電話の操作や無線接続の設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

本機で録る、または本機で聞く

録る

1 ① D.port ► ➡ ■ 押して

"D. port" に切り換える

② 携帯電話やパソコンで本機との通信接続の設定ができていない場合は、設定してください

聞く

1 ① D.port ► 押して

"D. port" に切り換える

② 携帯電話やパソコンで本機との通信接続の設定ができていない場合は、設定してください

2 **携帯電話やパソコン側を操作して、再生を始める**

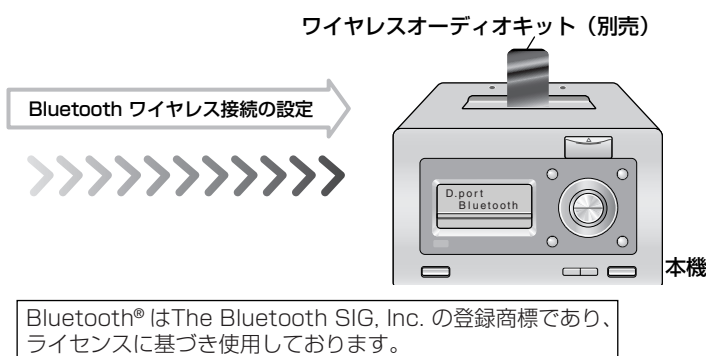
2 本機にD-snap portアジャスタ、ワイヤレスオーディオキット（別売）を取り付ける。（☞ 右記）

■ D-snap portアジャスタを取り外すときは
アジャスタに指を入れ、手前に引いて持ち上げる。

お知らせ

● Bluetoothワイヤレス接続の設定、パソコンとの接続についてはワイヤレスオーディオキットの取扱説明書をご覧ください。

● ワイヤレスオーディオキットにアジャスタが付属している場合は、必ずアジャスタを取り付けてから、プレーヤーを端子に合わせて、まっすぐ奥までしっかり装着してください。
※付属アジャスタにより形状が異なりますが、ご使用できます。

Bluetooth® はThe Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、ライセンスに基づき使用しております。

2 ① 録音モード 押す

②
"TRACK MARK"を選び、決定する

3

選び
決定

録音タイプ（☞ 左下「録音タイプ」）**を選び、決定する**

4 SD ●/II 押す

● MANUAL、AUTO(5MIN)では録音が始まります。
● SYNCHRO では録音待機状態になります。

5 携帯電話やパソコン側を操作して、再生を始める

● パソコン、携帯電話、どちらの場合でも、SYNCHRO では音の出始めから録音が始まります。

操作には、本機側の以下のボタンが使えます。

D.port ▶ 再生（録音中は使用不可）	■ 停止	⏮ 決定 ⏭ スキップ（録音中は使用不可）
＋ 音量 − 音量	サウンド 音質/音場（☞ 50ページ）	消音 消音（☞ 52ページ）

お知らせ

● 音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
● "SYNCHRO" モードでは無音状態が約3秒続くと一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置にトラックマークが付きます。
● 録音する曲の種類によっては、"SYNCHRO" を使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、"MANUAL" で録音してください。

ディースナップ ポート
D-snap port対応プレーヤーを本機で再生/充電する

D-snap port 対応プレーヤー（SV-SD850N など）なら、本機上部の D-snap port 差し込み部に接続するだけで、プレーヤーの再生/充電ができます。D-snap port 対応プレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

D-snap port 対応プレーヤーを接続する

接続前に、D-snap 側の電源を切ってください。

本機上部のふたを開け、D-snap port 差し込み部に D-snap port アジャスタを取り付け、D-snap port 対応プレーヤーを接続する（☞右記）

■ **D-snap port アジャスタを取り外すときは**
アジャスタに指を入れ、手前に引いて持ち上げる。

D-snap port 対応プレーヤーを本機で再生する

D.port ▶ **押して、再生する**

● D-snap port 対応プレーヤーで曲を途中まで聞いていた場合は、その続きから再生します。

D-snap port 対応プレーヤーを本機で充電する

本機の電源が入っていない場合

■ 表示部に

```
D.port
  CHARGING
```

と表示されます。

自動的に充電が始まります。

SD オーディオ対応機器

（2007 年 1 月現在）

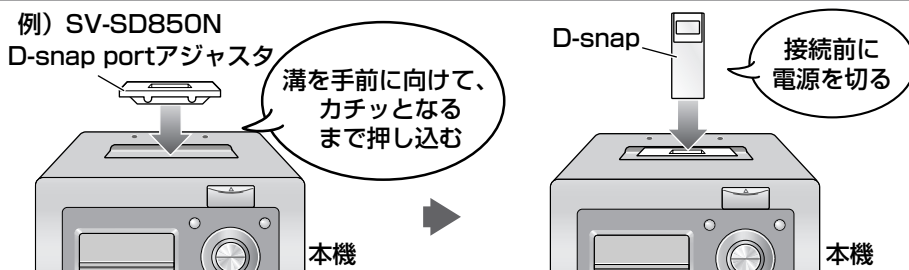
D-snap port 対応の D-snap（D-snap port 対応プレーヤー）

SD オーディオプレーヤー（D-snap）
- SV-SD850N ※
- SV-SD800N
- SV-SD400V など

※ 2007 年 4 月発売予定

その他の SD オーディオ対応機器で楽しむには…

■ SD オーディオプレーヤー（D-snap）
- SV-SD770V/710
- SV-SD570V/510
- SV-SD370V/310 など

■携帯電話
- NTT ドコモ：P903i
  P902iS
  P902i など

● D-snap port 対応プレーヤーにアジャスタが付属している場合は、必ずアジャスタを取り付けてから、プレーヤーを端子に合わせて、まっすぐ奥までしっかり装着してください。
※付属アジャスタにより形状が異なりますが、ご使用できます。

お知らせ

● D-snap port 差し込み部に接続中は、D-snap port 対応プレーヤー側のボタン操作はできません。
● D-snap port 差し込み部を通じて本機の楽曲データを D-snap 側に転送することはできません。
● D-snap を再生しながら充電することはできません。

本機の電源が入っている場合

■ セレクターが D-snap port に設定されている場合は、D-snap port 以外のセレクターに切り換えるか、電源を切ってください。

自動的に充電が始まります。

■ 充電が完了したかどうかは D-snap 側で確認できます。

お願い

● 充電完了後、D-snap port 対応プレーヤーを長期間使用しないときは、D-snap port 差し込み部から外しておいてください。充電後の自然放電により電池が消耗しても追加充電はされません。

■パソコン

セキュア（著作権保護機能）対応の SD カード挿入部を装備した Windows パソコンや専用のソフトウェア（SD-Jukebox）などが必要です。
（☞ 54 ページ「別売品のご紹介」）
（SD カードの曲をパソコンに移動/書き込みすることはできません）

お知らせ

本機は、SD オーディオ規格に準拠した SD/SDHC メモリーカードの録音・再生に対応していますが、すべての SD/SDHC オーディオ対応機器との動作互換を保証するものではありません。
動作確認済み機器について、くわしくは下記ホームページにてご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/mini/

MD をダビングする・テレビなどの音声を録る/聞く

準 備

① 別売機器を接続する（☞ 右記）
② 電源を入れる。
■ 録音の場合のみ
③ 録音用 SD カードを入れる。
● 録音モード（XP/SP/LP モード）を選ぶ。（☞ 26 ページ）

■ 録音を停止する

■ SD の残り時間を確認する 表示切替 数回押す

お知らせ

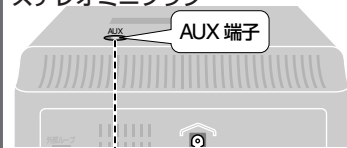
● 音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。
● “SYNCHRO” モードでは無音状態が約 3 秒続くと一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置にトラックマークが付きます。
● 録音する曲の種類によっては、“SYNCHRO” を使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は、“MANUAL” で録音してください。

別売機器を接続する

● ポータブル MD
● テレビ
● ビデオデッキ
● 有線
● BS・CS チューナー
など

電源を切った状態で接続します。

プラグタイプ：φ 3.5 mm ステレオミニプラグ

AUX 端子

オーディオコード（☞ 54 ページ「別売品のご紹介」）

ステレオオーディオコード（☞ 54 ページ「別売品のご紹介」）

本機で録る、または本機で聞く

録る

1
● テレビ、有線放送、BS/CS チューナーの場合は、好みの放送局を受信しておく。
● ポータブル MD の場合、ポータブル MD 側で音量を調節しておく。

FM/AM/AUX **押して“AUX” に切り換える**

押すたびに
FM → AM → AUX

聞く

1
FM/AM/AUX **押して“AUX” に切り換える**

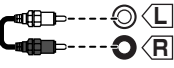
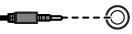
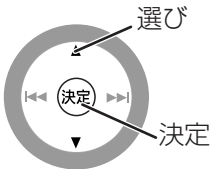
押すたびに
FM → AM → AUX

入力レベルを変更する

別売機器から SD に録音して、音量に不足を感じる場合などに使用します。

1
FM/AM/AUX **押して“AUX” に切り換える**

押すたびに
FM → AM → AUX

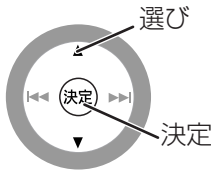
●接続した機器の説明書もご覧ください。

2 録音モード 押す

"TRACK MARK"
を選び決定する

3

録音タイプを選び決定する

[▲、▼] を押すたびに

→ MANUAL（通常の録音タイプ）
↕
AUTO(5MIN)
（5 分おきにトラックマークが自動的に追加）
↕
→ SYNCHRO
（接続した機器の再生が始まると自動的に録音を開始）

4 SD ●/II 押す

● MANUAL、AUTO(5MIN)では録音が始まります。
● SYNCHRO では録音待機状態になります。（"STANDBY"が点滅します。）

5 別売機器を再生する

SYNCHRO では、音の出始めから録音が始まります。

2 別売機器を再生する

2 再生モード 押す

押すたびに
HIGH ：入力レベルを上げるとき
↑↓
NORMAL ：入力レベルを変えないとき

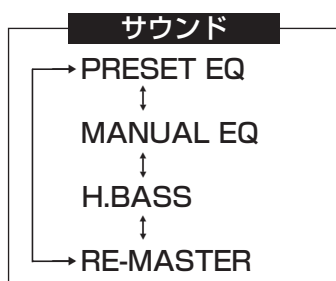
お知らせ

●音にひずみが生じた場合は、別売機器の音量を下げてください。

音質・音場効果を楽しむ

■ 1 つ前の画面に戻る ➡ 戻る

■ 途中で解除する ➡ ■

サウンド

PRESET EQ
↕
MANUAL EQ
↕
H.BASS
↕
RE-MASTER

好みの音質を楽しむ

イコライザー

“PRESET EQ” と“MANUAL EQ” の 2 種類があります。

MANUAL EQ では BASS（低域）と TREBLE（高域）の調整が行えます。

PRESET EQ

1 サウンド 押す

MANUAL EQ

1 サウンド 押す

豊かな低音で聞く

H.BASS

より再生帯域の広いスピーカーで聞いている効果が得られ、厚みのある低音で楽しめます。

1 サウンド 押す

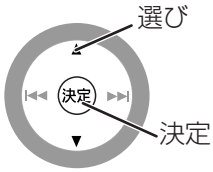
より自然な音で聞く

リ.マスター

SD の圧縮時に失われた高域信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

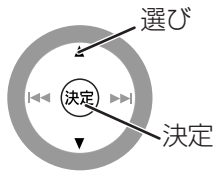
1 サウンド 押す

2

選び
決定

“PRESET EQ” を選び、決定する

（☞ 左下「サウンド」）

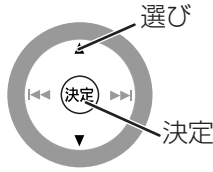
SOUND
↕ PRESET EQ

3

好みの音質を選び、決定する

PRESET EQ
↕ HEAVY

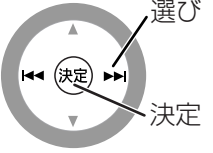
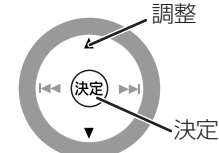
HEAVY ：ロックなど、パンチを効かせるとき
SOFT ：BGM として聞くとき
CLEAR ：ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
VOCAL ：ボーカルにつやを出したいとき
CLUB ：クラブで聞いているような効果を出したいとき
LIVE ：ライブハウスで聞いているような効果を出したいとき
HALL ：大ホールで聞いているような効果を出したいとき
FLAT ：音質効果を使わないとき

お買い上げ時の設定は “HEAVY” です。

2

“MANUAL EQ” を選び、決定する

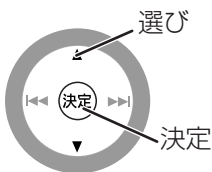
（☞ 左下「サウンド」）

SOUND
↕ MANUAL EQ

3

“BASS”（低域）または “TREBLE”（高域）を選び

BASS TREBLE
0 0

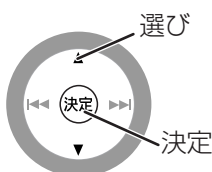
レベルを調整し、決定する

±４段階ずつ調整できます。

2

“H.BASS” を選び、決定する

（☞ 左下「サウンド」）

SOUND
↕ H. BASS

3

“ON” を選び、決定する

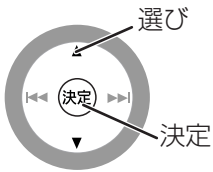
H. BASS
↕ ON

■ 解除する

手順３で “OFF” を選ぶ。

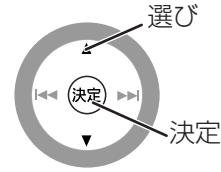
お知らせ

再生する音源によっては効果の少ないものもあります。

2

“RE-MASTER” を選び、決定する

（☞ 左記「サウンド」）

SOUND
↕ RE−MASTER

3

“ON” を選び、決定する

RE−MASTER
↕ON

■ 解除する

手順３で “OFF” を選ぶ。

お知らせ

● 録音中、リ. マスターは変更できません。

便利な機能

設定

CLOCK（時間設定）
↕
REMOCON（リモコンモード）
↕
AUTO OFF（オートオフ）
↕
DEMO（デモ）
↕
SW VERSION （システム情報）
↕
SW UPDATE （システム情報更新）

時間やタイトルなどの情報を見る

ディスプレイ

主な表示内容
- 再生経過時間
- 再生中の曲の残り時間
- SD の残り時間

表示切替 数回押す

例：再生経過時間

0：23

お知らせ
- 表示される内容は、現在行っている操作や音源などによって異なります。

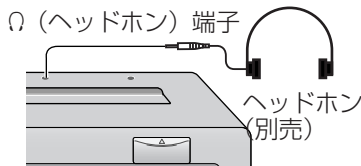
表示部やライトの明るさを変える

ライトモード

照明 押す

押すたびに
ライト点灯／表示部（明）
↑ ↓
ライト消灯／表示部（暗）

ヘッドホンで聞く

プラグタイプ：
φ 3.5 mm ステレオミニプラグ

お願い
- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

音のエチケット

音のエチケット
シンボルマーク

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

一時的に消音する

ミューティング

消音 押す

“MUTING” が点滅します。

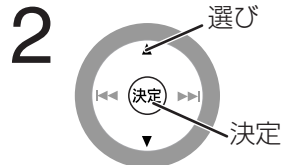
■ 解除する
- もう一度押す。
- 音量を調節する。
- 電源を切/入する。

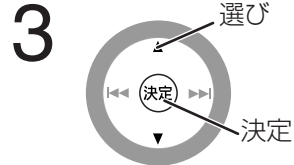
リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンで本機が誤動作するときに行います。

本体側を切り換えたときは、必ずリモコン側も切り換えてください。

本体側の切り換え　お買い上げ時の設定は“MODE 1”です。

1 設定 押す

2 選び 決定
“REMOCON”を選び、決定する（☞ 左下「設定」）

SETTING
↕ REMOCON

3 選び 決定
“MODE 2”を選び、決定する

REMOCON
↕ MODE 2

■ 途中で解除する ➡

リモコン側の切り換え

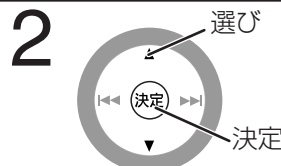
（決定）を押したまま、数字ボタンの 2 （本体側で設定した数字）を４秒以上押したままにする

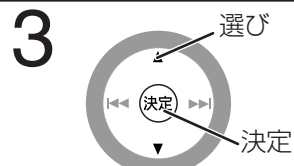
●**設定が終わったら、動作を確認してください。**
リモコンボタンを押して操作できれば、正しく設定されています。リモコンが働かないときは、メッセージに従ってリモコン側を切り換えてください。

デモ機能を「切」にする

■ 本体で操作するときは（☞ 6ページ「デモ機能」）

1 設定 押す

2

“DEMO”を選び、決定する（☞ 左記「設定」）

SETTING
↕ DEMO

3 選び 決定
“OFF”を選び、決定する

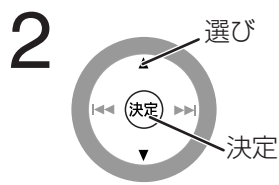
DEMO
↕ OFF

■ 途中で解除する ➡

システムソフトの情報を確認する

本機のソフトウェアバージョンなどが表示されます。

1 設定 押す

2

“SW VERSION”を選び、決定する
（☞ 左記「設定」）

SW VERSION
0.01

表示例

●最新バージョンについては、以下のホームページでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/mini

本機のシステムソフトを更新する

今後、性能改善のため、システムソフトの書き換え（更新）が必要になったときのための機能です。
システムソフトの更新に関する情報を受ける場合に必要ですので、必ずユーザー登録をお願いします。インターネットでの登録が必要です。
くわしくは、http://panasonic.jp/support/audio/mini をご覧ください。

別売品のご紹介

オーディオコード
● RP-CAPM3G15 (1.5 m)
ステレオオーディオコード
● RP-CAM3G15 (1.5 m)
SD Title Editor Ver.1.0
● SH-STE10 (パナセンスのみでの販売となります。)
SD オーディオ PC レコーディングキット
(SD-Jukebox Ver.5、USB リーダーライター付属)
● SH-SSK40
SD リーダーライター（著作権保護機能付き）
USB2.0 リーダーライター
● BN-SDCJP3（SDHC メモリーカード対応）
● BN-SDCGP3
CardBus PC カードアダプター
● BN-SDDBP3（SDHC メモリーカード対応）
● BN-SDDAP3
SDHC メモリーカード
● RP-SDR04GJ1K（4 GB）
SD メモリーカード
● RP-SDR02GJ1A（2 GB）
● RP-SDK02GJ1A（2 GB）
● RP-SDQ02GJ1A（2 GB）
● RP-SDR01GJ1A（1 GB）
● RP-SDK01GJ1A（1 GB）
● RP-SDQ01GJ1A（1 GB）
● RP-SDR512J1A（512 MB）
● RP-SDK512J1A（512 MB）
● RP-SD512BJ1A（512 MB）
● RP-SDH256N1A（256 MB）
● RP-SD256BJ1A（256 MB）
● RP-SD128BJ1A（128 MB）
● RP-SD064BJ1A（64 MB）
miniSD カード（専用アダプター付）
● RP-SS02GBJ1K（2 GB）
● RP-SS01GBJ1K（1 GB）
● RP-SS512BJ1K（512 MB）
● RP-SS256BJ1K（256 MB）
● RP-SS128BJ1K（128 MB）
● RP-SS064BJ1K（64 MB）
● RP-SS032BJ1K（32 MB）
microSD カード（専用アダプター付）
● RP-SM01GBJ1K（1 GB）
● RP-SM512BJ1K（512 MB）
● RP-SM256BJ1K（256 MB）
● RP-SM128BJ1K（128 MB）
● RP-SM064BJ1K（64 MB）
ワイヤレスオーディオキット
● SH-FX570K
● SH-FX570R

別売品の品番は、2007 年 1 月現在のものです。
品番は変更されることがあります。

別売品は、販売店でお買い求めいただけます。松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご確認ください。

PanaSense　http://www.sense.panasonic.co.jp/

お手入れ

■本機が汚れたら

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■CD を良い音でお楽しみいただくために

別売の専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：
CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）

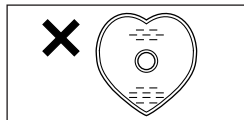
保管

■次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

CD について

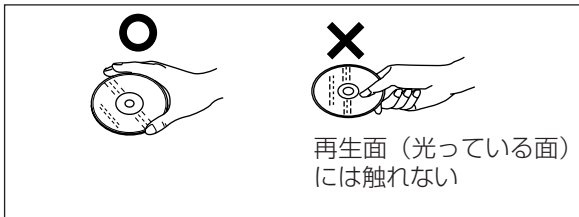
のマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。また、違法にコピーしたディスクや規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合がありますのでご使用にならないでください。

■CD-R と CD-RW の再生について

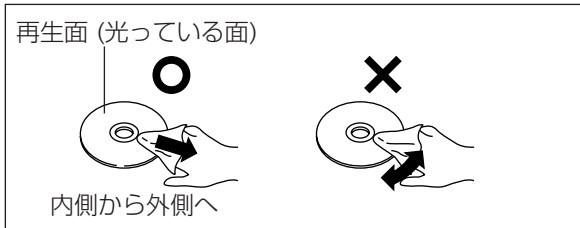
CD-DA フォーマットで記録された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。録音終了時にファイナライズ※が必要です。
ただし、記録状態によって再生できない場合があります。
※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。
DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）の再生は保証しておりません。

取扱上のお願い

■持ちかた

再生面（光っている面）には触れない

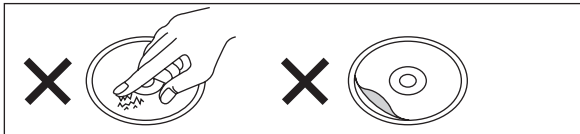
CD について(つづき)

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

■ 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

SD について

本機で使用できるカードについて

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、miniSD カード/microSD カード（専用アダプターが必要です）が使えます。
- 使用可能な SD カード容量
  SD メモリーカード容量
  8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB まで
  SDHC メモリーカード容量
  4 GB まで
  miniSD カード容量
  2 GB まで
  microSD カード容量
  1 GB まで
  最新情報は http://panasonic.jp/support/audio/ で確認してください。
- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- 記録前に本機で初期化することをおすすめします。(☞ 30 ページ)
- 本機は SD メモリーカード/SDHC メモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。SDHC メモリーカードを他機（パソコンなど）でお使いの場合は、必ずその機器の説明書をお読みください。

録音・編集について

SD カードへの録音は、高度な著作権保護技術に対応した「SD オーディオフォーマット※」を採用しています。

※SD アソシエーションにて制定された SD カードのオーディオ規格です。

■音楽の著作権保護のために

著作権保護と音楽文化の健全な発展と正当な購入者の権利を保護するための暗号技術を利用した SDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。このため、ご利用いただくにあたり、下記の制限があります。

- 本機は音楽データを暗号化して記録します。暗号化された音楽データを別の機器に複写して使用することはできません。
- 暗号化して記録された音楽データのバックアップ／リストア（復元）には対応していません。
- SD カード内のデータを移動するには、マイグレート対応のソフトウェア「SD-Jukebox」(別売) をご使用ください。
- コピー制限情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

■録音・編集時のお願い

録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、SD カードを取り出したり、SD 挿入部のふたを開けたり、電源コードを抜いたりしないでください。動作が停止します。

“CARD Writing”の点滅中に電源が切れたり、SD 挿入部のふたを開けたり SD カードを取り出したりすると、録音・編集・タイトル入力が正しくされないだけでなく、SD カードが使えなくなることがあります。

- 録音時に誤ってふたを開けてしまったときは、SD カードを入れ直し、録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は、録音内容を削除し、もう一度録音してください。(CD の高速録音時には、録音が停止したあと、約 74 分経過しないと同じ CD を高速録音できません。ただし、通常速での録音はできます。ラジオなどからの録音では復元できませんので、ご注意ください。)
- 編集時に誤ってふたを開けてしまったときは、編集内容を確認してください。正しく編集されていない場合は、もう一度編集してください。

■デジタル録音の制限について

CD から SD へのデジタル録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。本機で CD から SD へ録音すると信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行えます。著作権保護のため、この制限がある CD から SD へのデジタル録音はできません。
なお、アナログ録音にはこのような制限はありません。

■トラックマーク

録音部分に記録される“区切り”のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。

■SD カード 1 枚への録音は、収録時間内で最大 999 曲までです

実際に録音できる時間が少なくなる場合もあります。

SD について(つづき)

再生について

「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/WMA/MP3）のみ再生できます。

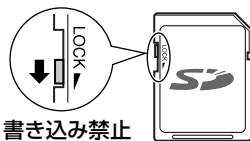
● Windows Media Audio 9(WMA9)対応
ただし、Professional,Lossless,Voice 及びマルチプルビットレート（一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）には対応していません。

初期化（フォーマット）について

●フォーマットは必ず本機で行ってください。
（☞ 30 ページ）他の機器でフォーマットしたカードは使用できないことがあります。

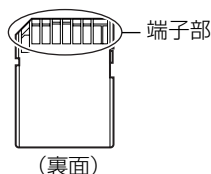
●本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD カード、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。

大切なデータを保護するために

● 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに録音・編集するときは解除してください。

● 操作の途中に SD カードを抜いたり、電源コードを抜き差ししたりしないでください。データが破壊されることがあります。

取扱上のお願い

- 保管時は、必ずケースに収納する。
- 分解や改造をしない。
- 貼られているラベルは、はがさない。
- 新たにラベルやシールを貼らない。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触らない。

（裏面）

SD カードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「初期化」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、SD カード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、SD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って SD カード内のデータを完全に消去することをおすすめします。SD カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した SD カードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本　部	☎(03) 3481-2121	静岡支部	☎(054) 254-2621
北海道支部	☎(011) 221-5088	中部支部	☎(052) 583-7590
盛岡支部	☎(019) 652-3201	北陸支部	☎(076) 221-3602
仙台支部	☎(022) 264-2266	京都支部	☎(075) 251-0134
長野支部	☎(026) 225-7111	大阪支部	☎(06) 6244-0351
大宮支部	☎(048) 643-5461	神戸支部	☎(078) 322-0561
上野支部	☎(03) 3832-1033	中国支部	☎(082) 249-6362
東京支部	☎(03) 3562-4455	四国支部	☎(087) 821-9191
西東京支部	☎(03) 5321-9530	九州支部	☎(092) 441-2285
東京イベント・コンサート支部	☎(03) 5321-9881	鹿児島支部	☎(099) 224-6211
立川支部	☎(042) 529-1500	那覇支部	☎(098) 863-1228
横浜支部	☎(045) 662-6551		

商標など

SDHC ロゴは商標です。

Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.

Windows Media, Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

MPEG Audio Layer 3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

Q&A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	テレビをつなぎたい	天面の「AUX」端子に接続します。 音声のみ本機でお楽しみいただけます。	48
	有線放送をつなぎたい	天面の「AUX」端子に接続します。	
	他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	—
SD	SD の残り時間を知りたい	残り時間表示になるまで［表示切替］を数回押してください。	52
	録音済み SD に上書き録音したい	テープと異なり、上書き録音はできません。 残り時間が少ないときは、いらない曲をイレースで消してから録音してください。	30
	録音済み SD の続きに録音したい	自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	—
	録音前や録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	音量や音質を調節して、スピーカーからの音を変えても、録音される音には影響しません。	—
	miniSD カード/microSD カードを使用できますか？	専用アダプターを装着することで楽しめます。	15
	MMC（マルチメディアカード）を使えますか？	使用できません。	—
	IC レコーダーで録音した SD を本機で再生できますか？	本機では再生できません。 SD オーディオフォーマットで記録された、AAC、WMA、MP3 以外は再生できません。 IC レコーダーを天面の「AUX」端子に接続することで楽しめます。	48
	SBR 形式で録音された SD は本機で再生できますか？	本機は SBR 形式には対応していません。本機で再生した場合、音質が悪かったり、雑音が発生することがあります。	—
その他	長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。 ただし、再使用時には、時計の再設定が必要です。	—
	再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも1つの方法です。	50

お買い上げ時の音質は？

お買い上げ時には、イコライザー（PRESET EQ）が「HEAVY」（重低音と高音を強調する音質）に設定されています。
お好みの音質に設定してお楽しみください。
（☞50 ページ）

ジャズが好きなんだけど…
イコライザーの設定を
変えてみようかしら

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　理
CAN'T EDIT	再生中やプログラム、ランダム設定中はタイトル入力やSDの編集ができません。	再生を停止し、各設定を解除したうえで、タイトル入力や編集を行ってください。
CARD FULL	SDカードの空き容量が足りません。	不要な曲を消す（☞30ページ）か、SDカードを取り換えてください。
CARD LOCKED	本機では使用できないカードです。	SDカードを取り換えてください。
CARD PROTECTED	SDカードへの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっています。	解除してから録音、編集してください。
CHECK CARD	本機では使用できないカードです。または、本機で使用できるような初期化がされていません。	SDカードの内容をご確認のうえ、本機で初期化する（☞30ページ）か、カードを取り換えてください。
EMERGENCY STOP	異常が発生しました。	SDカードを入れ直し、操作し直してください。
F □□ H □□ （□□は数字を示します）	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	一度、電源を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
MEMORY FULL ERASE TITLE	100枚を超えてCDのタイトルを入力しようとしています。	不要なタイトルを消してから再度入力してください。
NO CARD	SDカードが入っていません。	SDカードを入れてください。
NO DISC	CDが入っていません。	CDを入れてください。
NO PLAY	再生できないディスクです。	再生できるディスク（☞54ページ）に取り換えてください。
NO REMAIN	SDカードに空きのない状態で、CDのイッキ録りをしようとしました。	不要な曲を消す（☞30ページ）か、新しい録音用SDカードに取り換えてください。
NO TRACK	SDカードに1曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
	miniSDカード/microSDカードが専用アダプターに入っていません。	専用アダプターにminiSDカード/microSDカードを入れてください。
NOT MP3 ERROR	本機で再生できない形式のトラックを再生しようとしました。	トラックはスキップされ、次のトラックが再生されます。
OPEN	SD挿入部のふたが開いています。	ふたを閉じてください。
PGM（点滅）	プログラム再生中に、数字ボタンを押してダイレクトプレイをしようとしました。	プログラムを解除してから操作してください。
PLAYBACK CARD	演奏専用SDカードに録音・編集しようとしました。	録音用SDカードに取り換えてください。
PLAYLIST FULL	SDのプレイリストへの登録曲数が99曲を超えようとしています。	これ以上の登録はできません。
PROGRAM FULL	予約曲数が24曲を超えようとしています。	これ以上の予約はできません。

表　示	意　味	処　理
RND（点滅）	ランダム再生中に、数字ボタンを押してダイレクトプレイをしようとしました。	ランダムを解除してから操作してください。
SCMS CAN'T COPY	ビデオ CD や CD-ROM など、SD に録音できない音源を録音しようとしました。	オーディオ用の CD に取り換えてください。
	SCMS（☞ 55 ページ）が記録された CD-R または CD-RW から SD に録音しようとしました。	デジタルでは録音できません。 ［録音モード］を押して、“REC SOURCE”を選び決定し、“ANALOG”を選び、決定してアナログ録音に切り換えてください。
SELECT OVER	24 曲を超えて消そうとしています。	1 回の操作で、これ以上は消せません。何回かに分けて操作してください。
	SD のプレイリストへの登録曲数が 99 曲を超えようとしています。	これ以上の登録はできません。
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	本機で入力できる文字数の制限を超えています。	制限を超えた入力はできません。
TOC READING	CD の TOC 情報を読み込んでいます。	“TOC READING”消灯後に操作してください。
TRACK FULL	SD カードへの録音は最大 999 曲です。	不要な曲を消す（☞ 30 ページ）か、SD カードを取り換えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	WMA ではそのトラックをスキップして再生します。
U30 REMOTE □ （□は 1 または 2）	リモコンモードの設定が本体の設定と合っていません。	リモコンモードを変更してください。 リモコンの［決定］を押しながら［1］または［2］（“□”で表示された番号）を約 4 秒以上押したままにする。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
システム全体に共通	電源を切っているのに表示部が点灯して、次々と変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	6、53
	電源が入っているのに音が出ない。 再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	7
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	—
ラジオ	FM 放送や AM 放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続する。	6、7
	放送がうまく受信できない。 雑音、ひずみが多い。 “ST” が点滅する。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	21
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみる。屋外アンテナを使うのも一つの方法です。	21
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	—
		近くで携帯電話の充電をしていませんか。		
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	
CD	CD を入れても、表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外の CD を使用していませんか。	規格の CD と取り換える。	54
		寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約 1 時間待ってから使用する。	—
	特定の個所が正常に再生しない。	CD が汚れていませんか。	柔らかい布でふく。	55
	SD への高速録音時に音飛びやノイズが記録される。 CD-R/RW から録音できない。	ディスクの表面に傷や指紋が付いていませんか。	傷が付いている場合は CD を交換してください。 指紋は柔らかい布でふいてください。 きれいにふいたあと通常速の録音を行うと改善される場合があります。 CD-R/RW では、記録状態によっては録音できないことがあります。	—
	CD トレイが正しく収まらない。	—	① [電源 ⏻/I] を押して電源を切ったあと、電源コードを抜き、再度差し込む。 ② [電源 ⏻/I] を押す。 電源が入り“WAIT”と表示されます。 “WAIT” が消えてからご使用ください。	
		開口部奥に物がはさまっていませんか。	はさまっている物をとる。	—
	CD イッキ録りができない。	—	ディスクや条件によってイッキ碌りできない場合があります。	—
	高速録音ができない。	録音を終了した時点から約 74 分間待たずに同じ CD を高速録音しようとしませんでしたか。	約 74 分待ってから録音する。 または、通常速の録音を行う。	24

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
SD	**パソコンにSDカードを入れたのにファイルが開けない。**	パソコンのSD挿入部は「著作権保護機能」対応ですか。	対応していない場合は、別売のUSBリーダーライターなどを準備する。	10
SD	**SDを他のプレーヤーや携帯電話で再生できない。**	再生機器が「SDオーディオフォーマット」に対応していますか。	再生できる機器をご確認ください。	46
SD	**録音・編集・再生ができない。**	SDカードは正しく入っていますか。	SDカードを正しく入れてください。	15
		SD挿入部のふたが開いていませんか。	ふたをしっかりと閉めてください。	15
		SDカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか。	「書き込み禁止」を解除してください。解除しないと録音・編集できません。	56
		SDカード以外のカードを入れていませんか。	本機はSDカード以外のカードには対応していません。	55
リモコン	**リモコン操作ができない。**	乾電池の ⊕、⊖ が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	4
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	
		リモコンモードが合っていますか。	リモコンモードを変更してください。	53
リモコン	**本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する。または他の機器のリモコンで本機が誤動作する。**	――――	他の機器が干渉しないように、本機のリモコンモードを変更してください。	53
その他	**タイトルが表示されない。**	本機で表示できない文字（ひらがな、漢字等）を付けていませんか。	本機で表示できる文字（カタカナ、アルファベット、数字、記号）を付けてください。	34

デモ機能動作中に
"DEMO OFF"と表示されるまで
押したままにする

上記操作をするたびに
DEMO OFF(切)⇄DEMO ON(入)

DEMO OFF

●リモコンで操作するときは（☞ 53ページ「デモ機能を「切」にする」）

主な仕様

センターユニット部（SA-NS550SD）

アンプ部

実用最大出力（両 ch 動作）：15 W + 15 W
（全高調波ひずみ率 10 %）
LOW、HIGH 6 Ω 総合出力
：15 W + 15 W

FM チューナー部

受信周波数帯域：76.0 ～ 90.0 MHz（100 kHz ステップ）
アンテナ端子：75 Ω（不平衡型）

AM チューナー部

受信周波数帯域：522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

CD 部

サンプリング周波数：44.1 kHz
量子化：16 ビット直線
光源：半導体レーザー
波長：800 nm
レーザーパワー：0.11 ～ 0.45 mW（CLASS Ⅰ）
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター：測定限界以下
デジタルフィルター：8 fs
D/A コンバーター：MASH（1 ビット DAC）
CD-R、CD-RW 再生可

SD 部

サンプリング周波数：32 kHz（LP）/44.1 kHz（SP、XP）
圧縮/伸張方式：SD オーディオ再生
（AAC 方式、MP3 方式、WMA 方式）
SD オーディオ録音（AAC 方式）
チャンネル数：2 チャンネル（ステレオ）

―このマークがある場合は―

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

その他

高速録音（CD → SD）：最大 8 倍速（XP、SP モード時）
74 分 CD 時、約 12 分で録音

本体総合

電源：AC 100 V　50/60 Hz
消費電力：40 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：212 mm × 184 mm × 300 mm
質量：約 3.45 kg

電源切（スタンバイ）時の消費電力：約 0.11 W（DEMO OFF 時）

スピーカー部（SB-NS550）

形式：1 ウェイスピーカーシステム バスレフ型
　フルレンジ：8 cm コーンタイプ
インピーダンス：6 Ω
許容入力（IEC）：20 W（Max）
出力音圧レベル：80 dB/W（1.0 m）
再生周波数帯域：66 Hz ～ 25 kHz（−16 dB）
84 Hz ～ 20 kHz（−10 dB）
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：127 mm × 184 mm × 228 mm
質量：約 1.4 kg

注）1 この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。）

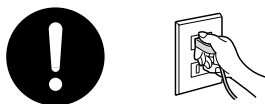
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

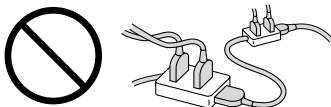
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

感電の恐れがあります。

SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

ショートや発熱により火災や感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

分解、改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

異常があったときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

電池は誤った使い方をしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **乳幼児の手の届くところに置かない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体、火の中へ入れたりしない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

- 取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

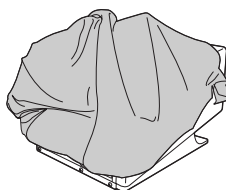
電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、液もれや、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 注意

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **壁や天井に取り付けない**

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

CD トレイの挿入口の奥に手を入れない

指に注意

閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

機器に乗らない

倒れたりして、けがの原因になることがあります。

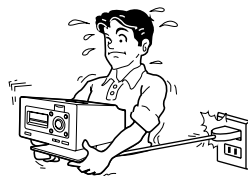
- 特にお子様にはご注意ください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

電池の液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間
当社は、この SD ステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき
60 ～ 61 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
右記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support

ご連絡いただきたい内容			
製 品 名	SD ステレオシステム	お買い上げ日	年　　月　　日
品　番	SC-NS550SD	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

ナショナル パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	住所	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	住所	電話
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市東通り2丁目1-7	☎(018)831-7833
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	住所	電話
石川	金沢市横川3丁目20	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)25-5001
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0906

さくいん

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録音・編集ができなかった場合の内容の補償、録音・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

愛情点検　長年ご使用の SD ステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎（　　）　－	品　番	SC-NS550SD
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒 571-8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQTV0173-S
H0107NM0